

WORLD HANDICAP SYSTEM

R&A USGA

ゴルファーの技量を均一な尺度で測定し、
すべてのゴルファーが、どこでプレーしても、
ゲームをより一層楽しめるようにするために、
USGAとR&Aは 1つの規則を発行しています。


ROLEX
PROUD SUPPORTER OF
THE GAME OF GOLF

Rules of Handicapping | Effective January 2024

JGA
JAPAN GOLF ASSOCIATION

ハンディキャップ規則

2024年1月施行

WORLD HANDICAP SYSTEM
R&A USGA


ROLEX
PROUD SUPPORTER OF
THE GAME OF GOLF

WORLD HANDICAP SYSTEM



ハンディキャップ規則

2024年1月施行

WORLD HANDICAP SYSTEM



米国ニュージャージー州・リバティーコーナーに本拠地を置くUSGAと、スコットランド・セントアンドリュースに本拠地を置くR&Aは、ゴルフ規則、アマチュア資格規則、およびハンディキャップ規則の制定と解釈を含み、ゴルフゲームを共同で世界的に統轄しています。

ゴルフ規則とアマチュア資格規則を共同で発行するにあたり、USGAとR&Aはそれぞれ別の活動管轄で運営しています。USGAはアメリカ合衆国とその準州、およびメキシコにおけるゴルフ規則とアマチュア資格規則の管理に責任を有し、R&Aはその加盟ゴルフ団体の同意を得て、世界中のその他すべての地域において同じ責任を有しています。

ハンディキャップ規則、並びにワールドハンディキャップシステムのすべての要素を共同で発行するにあたり、USGAとR&Aは全世界において共同で運営しています。

www.RandA.org

www.USGA.org

目次

序文	7
主要な変更点	10
用語の定義	12
I. ハンディキャップの基礎 (規則1)	19
規則1 – 目的と承認;ハンディキャップインデックスの取得	20
1.1 ワールドハンディキャップシステムの目的	20
1.2 ワールドハンディキャップシステムの使用承認	22
1.3 プレーヤー、ハンディキャップ委員会、承認された協会の責任	22
1.4 ハンディキャップインデックスの取得方法	24
1.4a ゴルフ倶楽部に所属する	24
1.4b ホーム倶楽部を指定する	25
II. ハンディキャップ査定に使用するスコア (規則 2~4)	27
規則2 – ハンディキャップ査定に採用可能なスコア	28
2.1 採用可能なスコア	28
2.1a 承認されたプレー形式でプレーしたスコア	30
2.1b ゴルフ規則に従ってプレーしたスコア	33
2.2 採用可能なスコアとなるための最少ホール数	35
2.2a 18ホールスコアの場合	35
2.2b 9ホールスコアの場合	35
規則3 – ホールスコアの調整	36
3.1 ハンディキャップ査定のためのホールスコアの上限	36
3.1a ハンディキャップインデックス取得前	36
3.1b ハンディキャップインデックス取得後	37
3.2 プレーしなかったホール	38
3.2a 1ホールまたは複数のホールをプレーしなかった理由	38
3.2b プレーしなかった1ホールまたは複数のホールのスコア規則	39
3.3 スタートしたがプレーヤーがホールアウトしなかったホール	41

規則4 – スコアの提出	45
4.1 スコア記録への登録が必要な情報	45
4.1a 通則	45
4.1b ハンディキャップインデックス取得前のスコアの場合	46
4.2 スコアを提出できる者	47
4.3 スコア提出の期限	47
4.4 スコアの証明	48
4.5 初回ハンディキャップインデックス取得に必要なスコア枚数	48
III. ハンディキャップ計算とハンディキャップインデックスの更新 (規則5~6)	49
規則5 – ハンディキャップインデックスの計算	50
5.1 スコアディファレンシャルの計算	50
5.1a 18ホールスコアの場合	50
5.1b 9ホールスコアの場合	51
5.1c マイナススコアディファレンシャルの端数処理	52
5.2 ハンディキャップインデックスの計算	52
5.2a スコア枚数が20枚未満の場合	52
5.2b スコア枚数が20枚の場合	55
5.2c プラスハンディキャップインデックスの場合	55
5.3 ハンディキャップインデックスの上限	56
5.4 ハンディキャップインデックスの更新頻度	56
5.5 スコアの有効期限とハンディキャップインデックスの失効	57
5.6 プレーイングコンディション計算	58
5.7 ローハンディキャップインデックス	61
5.8 ハンディキャップインデックスの増加制限	63
5.9 例外的なスコアの提出	64
規則6 – コースハンディキャップとプレーイングハンディキャップの計算	67
6.1 コースハンディキャップの計算	67
6.1a 18ホールラウンドの場合	67
6.1b 9ホールラウンドの場合	68
6.2 プレーイングハンディキャップの計算	69
6.2a 通常の計算	69
6.2b パーが異なる複数のティーを使用する競技の場合の計算	70

IV. ハンディキャップインデックスの管理 (規則7)	73
規則7 – 委員会の行動	74
7.1 ハンディキャップ委員会	74
7.1a ハンディキャップ検証の実施とハンディキャップインデックスの調整	74
7.1b 不足しているスコアやペナルティースコアの提出	78
7.1c ハンディキャップインデックスの停止	80
7.1d ハンディキャップインデックスの復帰	81
7.2 競技を管理する委員会	81
7.2a 競技の条件	81
7.2b その他の行動	82
V. 付属規則 (A~G)	83
付属規則A – 権利と責任	84
付属規則B – プレーヤーのスコア記録	90
付属規則C – ハンディキャップアローワンス	96
付属規則D – ハンディキャップ検証	102
付属規則E – ハンディキャップナンバーの割り当て (ハンディキャップストロークインデックス)	106
付属規則F – パーの設定	108
付属規則G – ゴルフコース、コースレーティング、スロープレーティング	110
索引	116

序文 - 2024年版ハンディキャップ規則

この本はハンディキャップ規則™の最初の改訂版であり、世界中のゴルファーの楽しみを向上させるために 2020 年に初めて導入された単一の規則の更新です。

ハンディキャップ規則は、コースレーティングシステム™も含むワールドハンディキャップシステム™ (WHS™) の一部であり、R&A と USGA によって世界中で統一された基準に基づき共同管理されています。各国でのハンディキャップの管理と監督は、国の協会やその他の承認された団体の責任となり、このシステムが地域レベルで効果的で応答的に運用されることを確実にしています。

近年ではゴルフに参加する人の著しい増加が見受けられ、それによってハンディキャップ目的に提出されるスコアの数も増加しています。2020 年 1 月の導入から、WHS は 125 カ国を超える国々で採用され、何百万人ものゴルファーによって活発に使用されています。私たちは WHS がゴルフの成長の促進と支援の役割を担っていることを嬉しく思っています。

ハンディキャップ規則へのこの最初の改訂は、各々が WHS が開始されて以来その進歩を導き、確固たる基礎を築いてきた当初の 3 つの目的に引き続き基づいています：(i) できるだけ多くのゴルファーがハンディキャップを取得し、維持することを奨励すること；(ii) 能力、性別、国籍の異なるゴルファーが自分のハンディキャップを世界中のあらゆるコースに持ち込み、公平に競い合うことを可能とすること；(iii) ゴルファーが通常のコンディションでプレーしたときに世界中のあらゆるコースで合理的に達成することができるスコアを十分な正確さで示すこと。

具体的には、この改訂はシステムの包括性、アクセスのしやすさ、完全性を強化することを目標としており、例としては、(i) 発行されるコースレーティング™のためのこれまでよりも短い最小距離の要件は、多くの短い距離のコースやパー 3 のコースを受け入れる変更となります。そして、(ii) ハンディキャップ検証手続きやエリートレベルイベントへの参加資格要件についてのさらなるガイダンスなど、より堅固で有意義な保護策があります。

主要な変更点の要約は 10～11 ページにあります。こうした変更点の多くは国協会やゴルフクラブで使われるハンディキャップソフトウェアによって実行されますので、ゴルファーは行動を変化させる必要はありません。しかしながら、プレーヤーがより頻繁に行うことを要請されることがある変更のひとつは、規則 3.2 に基づき「プレーしなかったホール」を扱う新しい方法を円滑に進めるためのホールバイホールのスコアの提出です。

ハンディキャップ運営委員会とその小委員会の皆さんが提供を継続し、最終的にこのハンディキャップ規則の新しい版を作成することの支援となったきわめて貴重な洞察力に御礼申し上げます。

ワールドハンディキャップ機関
委員長
Sharon Ritchey (USGA)

ハンディキャップ運営委員会
委員長
Birgitta Ljung



ONE STANDARD

優れた伝統は、ゴルフの素晴らしい過去を祝福することから生まれるだけでなく、ゴルフを未来へと導く。ロレックスはUSGAとR&Aと共に、真に時代を超えたスポーツの未来に一員として参加できることを誇りに思う。

#Perpetual

R&A

USGA®


ROLEX

2024年ハンディキャップ規則で導入された主要な変更点

規則3.2 プレーしなかったホール

規則 3.2 は次のように再編成されました：

規則 3.2a は 1 ホールまたは複数のホールをプレーしなかった理由がどのような場合に正当、あるいは不当となるのかについてより明確に規定しています。

規則 3.2b は 1 ホールまたは複数のホールを正当な理由でプレーしなかった場合に 9 ホール、あるいは 18 ホールのスコアディファレンシャルを計算する新しい方法を示しています。この新しい方法では、ネットパーを用いる方法の代わりに予想されるスコア（新定義参照）を用います。

2つの新しい詳説が提示されています：

- 予想されるスコアを用いたスコアディファレンシャルの計算手続きの要約
- 特定の状況においてネットパーを用いることの許容

規則5.2c プラスハンディキャップインデックスの場合

この規則はプラス (+) ハンディキャップインデックスを指定することについてのガイダンスを規定する詳説 (2022 年 7 月) を収録するために更新されました。

規則6.2a プレーイングハンディキャップの計算—通常の計算

この規則は端数処理を行う場合について一部の裁量を与えている詳説 (2021 年 9 月) を収録するために更新されました。

規則7.1b 不足しているスコアやペナルティースコアの提出

この規則は異なる状況においてどのようなペナルティースコアを適用するのかについての明確化とより多くのガイダンスを規定するために再編成されました。

規則7.2a 競技を管理する委員会—競技の条件

規則 7.2a はエリートレベル競技を管理する委員会のためのエントリーや参加資格要件に関する追加のガイダンスを規定している詳説 (2023 年 1 月) を収録するために更新されました。

付属規則C ハンディキャップアローワンス

付属規則 C は推奨されるアローワンスは「通常の」参加人数や参加者の構成に基づいており、委員会は異なる参加人数や参加者構成に対してアローワンスの調整を検討することができることを明確にするために修正されました。

3 人 1 組のスクランブル形式の推奨アローワンスが表に追加されました。

マッチプレー競技でのアローワンスの適用も変更され、個人のハンディキャップに対してではなく、ハンディキャップの差に対して「%」が適用されます。

付属規則D ハンディキャップ検証

付属規則 D はハンディキャップ検証の手続きを支援するためにハンディキャップ委員会が利用できるツールを強化する追加のガイダンスを収録するために更新されました。

付属規則F パーの設定

付属規則 F は適切な場合、複数のティーについてパーを標準化することを推奨するために修正されました。

付属規則G ゴルフコース、コースレーティング、スロープレーティング

付属規則 G はコースレーティングとスロープレーティングを発行できるゴルフコースの新しい最短距離を収録するために更新されました。この更新によって、9 ホールで最短 750 ヤード (685 メートル)、18 ホールで最短 1,500 ヤード (1,370 メートル) のゴルフコースでのスコアをハンディキャップ査定用に採用することが認められるようになります。

用語の定義

アクティブシーズン (Active Season)

特定地域において、ラウンドが行われた場所を管轄する承認された協会が決定した、採用可能なスコアをハンディキャップ査定のために提出すべき期間をいう。

一般のプレー (General Play)

競技は開催されておらず、ゴルファーが以下のようにプレーすることをいう：

- プライベートラウンドをプレーする
- 勝負を競い合うが、委員会が開催する競技ではない

管轄地域 (Jurisdiction)

承認された協会がハンディキャップ規則を管理運用する地理的範囲をいう。

キャップ (Cap)

プレーヤーのローハンディキャップインデックスを基準として、そのプレーヤーのハンディキャップインデックスの増加を抑制または制限する手順をいう。キャップには、次の2つのトリガーポイント（発動点）がある：

- ソフトキャップ – ハンディキャップインデックスの増加が規定値を超えた場合、増加割合を抑制する。
- ハードキャップ – ハンディキャップインデックスの増加が規定値を超えた場合、増加上限を適用する。

(規則 5.8 参照)

コースハンディキャップ (Course Handicap)

特定のティーからプレーした時に、プレーヤーが受けるハンディキャップストローク数（ハンディキャップアローワンス適用前）をいい、スロープレーティング、およびコースレーティングとパーの差によって決定する（規則 6.1 参照）。

コースレーティング (Course Rating)

スクラッチプレーヤーが、通常のコースコンディションおよび気象条件でプレーした場合の、ゴルフコースの難易度を示す尺度をいう（付属規則 G 参照）。

ゴルフ規則 (Rules of Golf)

全米ゴルフ協会 (USGA) および R&A ルールズリミテッド (R&A) により承認されたゴルフ規則をいう。競技やゴルフコースで委員会が採用したローカルルールもゴルフ規則に含む。

ゴルフ倶楽部 (Golf Club)

地域を管轄する承認された協会への所属を通して、その倶楽部を自身のホーム倶楽部に指定しているプレーヤーのハンディキャップインデックスを、ハンディキャップ規則の要件に従って管理および運用することを認められた団体をいう。ゴルフ倶楽部は、承認された協会に所属するために、承認された協会が定める一定の要件を満たすことを義務づけられる場合がある。

ゴルフコース (Golf Course)

ゴルフがプレーされる場所をいい、ゴルフ規則に定義されている次の5つのエリアで構成される：

1. ジェネラルエリア
2. プレーヤーがプレーするホールをスタートするときそこからプレーしなければならないティーイングエリア
3. すべてのペナルティーエリア
4. すべてのバンカー
5. プレーしているホールのパッティンググリーン

各ホールには複数のティーイングエリアが設けられている場合があり、ハンディキャップ査定においては、ゴルフコースは各ホールの指定されたティーで構成される。従って、各ティー（またはゴルフコース）は、必要に応じて性別毎に、それぞれ個別のコースレーティングとスロープレーティングを持つべきである。

採用可能なスコア (Acceptable Score)

承認されたプレー形式によるスコアで、ハンディキャップ規則のすべての定めを満たすものをいう（規則 2 参照）。

承認された協会 (Authorized Association)

全米ゴルフ協会 (USGA) および R&A ルールズリミテッド (R&A) によって定められた体制に基づいて、その管轄地域内においてハンディキャップ規則を施行および管理し、統括する組織に委任された責任を遂行することを承認された団体をいう。マルチナショナル協会、ナショナル協会、または地区協会 (または連盟/ユニオン) でなければならない。ただし、そうした団体が存在しない場合に USGA や R&A が別途承認する場合を除く。

承認されたプレー形式 (Authorized Format of Play)

ラウンドがプレーされた場所を管轄する承認された協会が決定した、ハンディキャップ査定に採用可能なプレー形式をいう (規則 2.1a 参照)。

スクラッチプレーヤー (Scratch Player)

ハンディキャップインデックス 0.0 のプレーヤーをいう。

スコア記録 (Scoring Record)

プレーヤーの採用可能なスコアの履歴と、以下の情報を記録したもの:

- プレーヤーの最新のハンディキャップインデックス
- プレーヤーのローハンディキャップインデックス
- ラウンドに関するその他の詳細 (プレー日など)
- 適用される調整 (例外的なスコアによる調整など)

(付属規則 B 参照)

スコア相互検証 (Peer Review)

スコアまたはハンディキャップインデックスを確認したり、異議を申し立てる手順をいう (規則 4.4 参照)。

スコアタイプ (Score Type)

プレーヤーのスコア記録内で表示する、採用可能なスコアの種別指定 (付属規則 B 参照)。

スコアディファレンシャル (Score Differential)

プレーヤーの調整グロススコアとコースレーティングの差に、スロープレーティングとプレーイングコンディション計算を反映したものをいう。これは、ゴルフコースで特定の日に達成したスコアに起因する数値としてプレーヤーのスコア記録に登録される。スコアディファレンシャルは、18 ホールの数値または算出された 18 ホール相当の数値でなければならない (規則 5.1 参照)。

スコアの証明 (Certification of Score)

次のいずれかの方法でプレーヤーのスコアを立証することをいう:

- マーカーによる物理的署名または電子認証
- **スコア相互検証**

(規則 4.4 参照)

スロープレーティング (Slope Rating)

スクラッチプレーヤーと比較した場合の、スクラッチプレーヤー以外のプレーヤーにとってのゴルフコースの相対的な難易度の指標 (付属規則 G 参照)。

ソフトキャップ (Soft Cap) (「キャップ」の項参照)

調整グロススコア (Adjusted Gross Score)

プレーヤーのグロススコア (罰打を含む) に、次の場合の調整を適用したものをいう:

- プレーヤーが自身のホールスコア上限を超えた場合
- プレーしなかったホールがある場合
- スタートしたがホールアウトしなかったホールがある場合

(規則 3 参照)

ネットダブルボギー (Net Double Bogey)

そのホールのパーに 2 打を足したものを、そのホールに適用されるハンディキャップストロークで調整したスコアをいう。ネットダブルボギーは、ハンディキャップ査定のためのプレーヤーの 1 ホールのスコア上限である (規則 3.1 参照)。

ネットパー (Net Par)

そのホールのパーを、そのホールに適用されるハンディキャップストロークで調整したスコアをいう (規則 3.2 参照)。

パー (Par)

通常のコースコンディションおよび気象条件で、一般的にスクラッチプレーヤーが各ホールで達成すると予測されるスコアをいう。その際、パッティンググリーン上で 2 打を費やすものとする (付属規則 F 参照)。承認された協会、またはナショナル協会の裁量で認められたゴルフ倶楽部は、パーの適正な設定に責任を持つ (付属規則 A 参照)。

ハードキャップ (Hard Cap) (「キャップ」の項参照)

ハンディキャップアローワンス (Handicap Allowance)

特定のプレー形式において、参加するすべてのプレーヤーに公平性をもたすために、推奨するコースハンディキャップの適用率をいう (付属規則 C 参照)。

ハンディキャップ委員会 (Handicap Committee)

ゴルフ倶楽部または承認された協会が設立した組織をいい、ハンディキャップ規則に基づくゴルフ倶楽部または承認された協会の義務を遵守することに責任を持つ (規則 1.3 および付属規則 A 参照)。

ハンディキャップインデックス (Handicap Index)

プレーヤーの実証された技量を、標準難易度のゴルフコース (スロープレーティング 113 のコース) を基準として示した尺度をいう (規則 5.2 参照)。

ハンディキャップ規則 (Rules of Handicapping)

全米ゴルフ協会 (USGA) および R&A ルールズリミテッド (R&A) により承認され、承認された協会によりその管轄地域内で管理されるハンディキャップ規則をいう。

ハンディキャップ検証 (Handicap Review)

ハンディキャップ委員会が、そのゴルフ倶楽部を自身のホーム倶楽部として指定したメンバーのハンディキャップインデックスを、修正する必要があるか否かを決定するために実施する手続きをいう (規則 7.1a および付属規則 D 参照)。

ハンディキャップナンバー (Stroke Index)

ゴルフコースの各ホールに割り当てられる数値で、どこでハンディキャップストロークを受けたり、与えたりするかを示すものをいう (付属規則 E 参照)。

非アクティブシーズン (Inactive Season)

特定地域において、ラウンドがプレーされた場所を管轄する承認された協会が決定した、ハンディキャップ査定のためにスコアを提出できない期間をいう。

プレーイングコンディション計算 (PCC)

プレー当日のコンディションが通常のプレーイングコンディションと大きく異なり、プレーヤーのパフォーマンスに著しい影響を与えたかどうかを決定するために用いる統計計算をいう。プレーヤーのパフォーマンスに影響を与える可能性のあるコンディションは、以下の例を含む:

- コースコンディション
- 気象条件
- コースセットアップ

(規則 5.6 参照)

プレーイングハンディキャップ (Playing Handicap)

コースハンディキャップをハンディキャップアローワンスまたは競技の条件によって調整したものをいい、プレーしているラウンド中にプレーヤーが受けたり、与えたりする実際のストロークを表す (規則 6.2 参照)。

ペナルティスコア (Penalty Score)

以下のプレーヤーに対して、ハンディキャップ委員会が自らの裁量で提出するスコアをいう。

- 採用可能なスコアを提出しない。および/または
- 不当な理由により、ラウンドを終了しない、あるいは 1 ホールまたは複数のホールをプレーしない (規則 7.1b(ii) 参照)。

ホーム倶楽部 (Home Club)

プレーヤーが、ハンディキャップ規則に従って自身のハンディキャップインデックスを管理する倶楽部として指定したゴルフ倶楽部をいう。

ボギープレーヤー (Bogey Player)

ハンディキャップインデックス 20.0 前後の男子プレーヤー、およびハンディキャップインデックス 24.0 前後の女子プレーヤーをいう。

メンバー (Member)

倶楽部の方針によって決められた方法でゴルフ倶楽部に所属し、その倶楽部を通してハンディキャップインデックスの取得を認められたプレーヤーをいう。

最も可能性の高いスコア (Most Likely Score)

スタートしたがホールアウトしなかったホールにおいて、プレーヤーがハンディキャップ査定のために記録するスコアをいう (規則 3.3 参照)。

予想されるスコア (Expected Score)

標準的な難易度のコースで特定のホール数に対して達成すると予想されるスコアをいう。プレーヤーのハンディキャップインデックスを用いて計算され、ラウンド中にプレーしなかった1ホールまたは複数のホールに対して数値を割り当てる。

例外的なスコア (Exceptional Score)

ラウンド当日におけるプレーヤーのハンディキャップインデックスより、7.0 ストローク以上少ないスコアディファレンシャルをいう (規則 5.9 参照)。

ローハンディキャップインデックス (Low Handicap Index)

プレーヤーのスコア記録に登録されている最新のスコアがプレーされた日から起算して、過去 365 日間 (1 年) におけるプレーヤーのために計算された最小ハンディキャップインデックスをいう (規則 5.7 参照)。

I

ハンディキャップの基礎

規則 1



規則 1 目的と承認；ハンディキャップインデックスの取得

1.1 ワールドハンディキャップシステムの目的

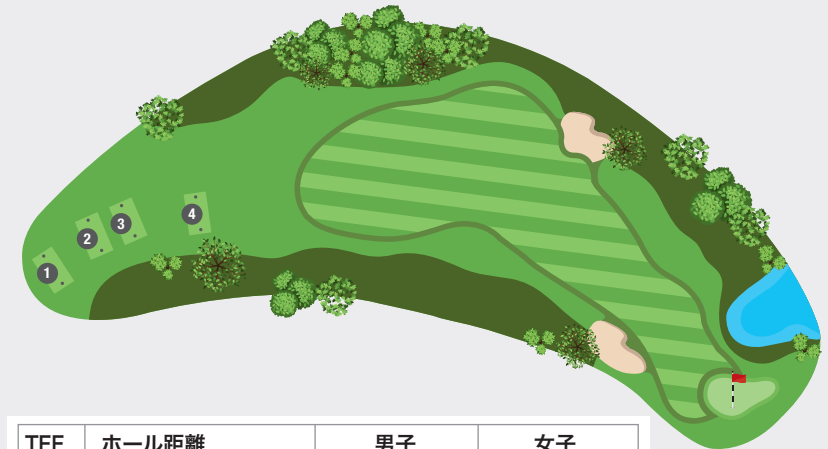
ワールドハンディキャップシステムは、ハンディキャップ規則とコースレーティングシステムによって構成される。その目的は、ゴルフゲームの楽しさをより一層高め、できるだけ多くのゴルファーに次の機会を提供することである：

- ハンディキャップインデックスを取得し、維持する。
- 世界中のあらゆるゴルフコースでハンディキャップインデックスを使用する。
- 誰とでも公平且つ公正に、競技やプライベートラウンドをプレーする。

このことは、以下によって達成される：

- 各ティーについて、距離とプレー難易度に基づくコースレーティングとスロープレーティングを査定する (図 1.1 参照)。
- プレーするゴルフコースおよびプレー形式を反映したハンディキャップインデックスの調整を適用する。
- 特定の日のプレーヤー達のスコアを使用し、プレーイングコンディショニングによる影響を評価し、必要に応じて調整を適用する。
- ハンディキャップインデックスがプレーヤーの実証された技量を常に反映するよう、ハンディキャップ査定のためのホールスコアの上限を設ける。
- 提出されたすべての採用可能なスコアに、ハンディキャップインデックスを更新するための均一な計算を適用する。
- ハンディキャップインデックスを毎日 (後日になる場合は速やかに) 更新する。
- ハンディキャップインデックスがプレーヤーの実証された技量を常に反映するよう、定期的にハンディキャップインデックスの検証を実施する。

図 1.1：各ティーに別々に査定されたコースレーティングとスロープレーティング



TEE	ホール距離	男子		女子	
		コースレーティング	スロープレーティング	コースレーティング	スロープレーティング
①	6,371 yds (5,826m)	70.9	129	76.5	135
②	5,906 yds (5,400m)	68.5	126	73.7	130
③	5,433 yds (4,968m)	66.2	118	71.2	122
④	4,862 yds (4,446m)	63.4	107	67.2	111

注：この表は男子と女子の両方について各ティーからの別々のコースレーティングとスロープレーティングを含んでいるが、承認された協会はその用途を踏まえて男子および/または女子のコースレーティングとスロープレーティングを査定する必要性を常に考慮すべきである。

1.2 ワールドハンディキャップシステムの使用承認

ワールドハンディキャップシステムを使用するためには、協会は USGA および R&A の承認を受けなければならない。承認された協会は、その管轄地域内において以下が認められる：

- ハンディキャップ規則とコースレーティングシステムの使用
- ワールドハンディキャップシステムの登録商標類の使用
- ハンディキャップインデックスの発行（直接またはゴルフクラブを通して）
- コースレーティングとスロープレーティングの発行

次の商標類は、USGA と R&A が所有権とライセンス権を保有し、無断複製転用を禁ずる：ワールドハンディキャップシステム™、WHS™、ハンディキャップインデックス®、スコアディファレンシャル™、ローハンディキャップインデックス™、コースハンディキャップ™、プレーイングハンディキャップ™、コースレーティングシステム™、コースレーティング™、ボギーレーティング™、スロープレーティング™。

ワールドハンディキャップシステムの使用承認を受けていない団体は、これらの商標類やワールドハンディキャップシステムの一部を使用してはならない。これには、コースレーティングシステムおよびハンディキャップ計算式を含むが、その団体が承認された協会を通してゴルフクラブにハンディキャップに関する商品やサービスを提供している場合を除く。

1.3 プレーヤー、ハンディキャップ委員会、承認された協会の責任

プレーヤー、ハンディキャップ委員会、および承認された協会は、ハンディキャップ規則を適切に施行・管理するための重要な役割を担う。

各主要ステークホルダーの主な責任は以下の通り：

(i) プレーヤー

プレーヤーは以下を行うことが期待される：

- ハンディキャップ規則を遵守することによって誠実に行動し、不当な利益を得ることを目的としてハンディキャップ規則を使用または回避しない。
- 各ホールで最善のスコアを目指してプレーする。
- 実証された技量を合理的に証明するためにすべての採用可能なスコアを提出する。
- ラウンド終了後できるだけ速やかに、および現地時間の深夜 0 時までには、ハンディキャップ査定のために採用可能なスコアを提出する。

- ゴルフ規則に従ってプレーする。
- 他のプレーヤーのスコアを証明する。

(ii) ゴルフクラブ／ハンディキャップ委員会

- ゴルフクラブはその地域の承認された協会に所属し、そのクラブをホームクラブに指定したメンバーのハンディキャップインデックスをハンディキャップ規則の要件に従って管理する責任を持つ。
- ハンディキャップ委員会は、ゴルフクラブが設立し、ハンディキャップ規則に基づくゴルフクラブの義務と責任を遵守することに責任を持つ。
- ナショナル協会がプレーヤーのハンディキャップインデックスを直接管理、運用する場合、ナショナル協会はゴルフクラブとしての責任も負う。

(iii) 地区ゴルフ協会

- 地区ゴルフ協会は、その地域のナショナル協会に所属し、特定の地域のゴルフクラブおよび／またはゴルファーによって構成される。
- 地区ゴルフ協会は、ワールドハンディキャップシステムの特定の責任を持ち、管轄するナショナル協会から追加の義務を受託することがある。

(iv) ナショナル協会

- 承認されたナショナル協会は、その管轄地域内において、ハンディキャップインデックスの発行を含む、ワールドハンディキャップシステムの施行と管理を行う独占権を持つ。
- ナショナル協会は、ワールドハンディキャップシステムの特定の責任を持ち、マルチナショナル協会から追加の義務を受託することがある。
- 承認されたナショナル協会は、その責任の一部を地区ゴルフ協会またはゴルフクラブに委任することがある。

注：ナショナル協会がプレーヤーのハンディキャップインデックスを直接管理している場合は、ナショナル協会はゴルフクラブの責任も担うものとする。

(v) マルチナショナル協会

- マルチナショナル協会が承認されたハンディキャップ管理団体である場合、そのマルチナショナル協会は、そこに加盟するすべてのナショナル協会を代表して、その管轄地域内において、ワールドハンディキャップシステムの施行と管理を行う独占権を持つ。

- 承認されたマルチナショナル協会は、その権利と責任の一部を管轄地域内のナショナル協会に委任し、マルチナショナル協会に代わってワールドハンディキャップシステムの運用と義務遂行を実施させることがある。

(vi) **USGA と R&A**

- USGA と R&A は共同で、ハンディキャップ規則とコースレーティングシステムの制定と解釈に責任を持つ。
- USGA と R&A は、ワールドハンディキャップシステムの共同統括組織であり、ワールドハンディキャップシステムの使用認可に責任を持つ。

各主要ステークホルダーの権利と責任に関する詳細は、付属規則 A を参照。

1.4 ハンディキャップインデックスの取得方法

1.4a ゴルフ倶楽部に所属する

ハンディキャップ規則に従って管理できるハンディキャップインデックスを取得するためには、プレーヤーは、次のいずれかでなければならない：

- 承認された協会に所属しているゴルフ倶楽部のメンバー
- ゴルフ倶楽部の責任を持つとみなされる承認された協会に直接所属するメンバー（規則 1.3 (ii) 参照）

またプレーヤーは、ハンディキャップインデックスを取得または維持するためにスコアを提出することにより、自身のスコア記録が必要に応じて次の目的で使用されることを承認するものとする：

- スコア相互検証（規則 4.4 参照）
- ハンディキャップインデックスの発行
- 管理および調査

規則1.4aの詳説：

1.4a/1 - プロゴルファーはハンディキャップインデックスを取得できるか？

ハンディキャップ規則に明記されているプレーヤーの責任をすべて満たすことを条件として、プロゴルファーもハンディキャップインデックスを取得することができる。

1.4b ホーム倶楽部を指定する

プレーヤーは、1 箇所のゴルフ倶楽部を、自身のハンディキャップインデックスの管理責任を負うホーム倶楽部として指定しなければならない。

プレーヤーが 2 箇所以上のゴルフ倶楽部のメンバーである場合、プレーヤーは各ゴルフ倶楽部が、以下に関する詳細を把握するようにしなければならない：

- プレーヤーがメンバーである他のすべてのゴルフ倶楽部
- プレーヤーが自身のホーム倶楽部に指定したゴルフ倶楽部

プレーヤーのホーム倶楽部、あるいは承認された協会だけがプレーヤーのハンディキャップインデックスを調整できるが、そのプレーヤーがメンバーとなっているすべての倶楽部は情報を共有すべきであり、ハンディキャップインデックスの調整を要求することができる。

規則1.4bの詳説：

1.4b/1 - ホーム倶楽部を指定する際の基準

規則 1.4b は、プレーヤーに 1 箇所のゴルフ倶楽部を自身のホーム倶楽部に指定することを義務づけている。

プレーヤーが 2 箇所以上のゴルフ倶楽部のメンバーである場合、どのゴルフ倶楽部を自身のホーム倶楽部に指定するかは、次の基準のひとつ以上に基づくべきである：

- 主な居住地から（同じ国にある）ゴルフ倶楽部への近さ
- ゴルフ倶楽部でのプレーの頻度
- 自身の採用可能なスコアのほとんどを提出しているゴルフ倶楽部

ゴルフ倶楽部は、上記の基準のひとつ以上を満たしていないプレーヤーがその倶楽部をホーム倶楽部と指定することを許可してはならない。

プレーヤーの主な居住地が定期的に変わり、上記の基準が時期によって異なるゴルフ倶楽部に当てはまる場合は、そのプレーヤーはホーム倶楽部を都度変更することを検討すべきである。

プレーヤーは、自身に不当な利益をもたらすハンディキャップインデックスを取得することを目的として、ホーム倶楽部を指定してはならない。

1.4b/2 - プレーヤーがホーム倶楽部指定を変更する場合

プレーヤーが、何らかの理由で自身のホーム倶楽部指定を変更する場合は、その旨

を自身がメンバーであるすべてのゴルフ倶楽部に通知し、新しいホーム倶楽部にスコア記録を提供しなければならない。

1.4b/3 - プレーヤーが異なる管轄地域に所在する複数のゴルフ倶楽部に所属し、2つ以上のハンディキャップインデックスを持つことになった場合

付属規則 A.1 では、「プレーヤーは次のことを期待されている・・・(ii) ひとつのスコア記録からハンディキャップ規則に従ってそのプレーヤーのホーム倶楽部によって管理されるひとつのハンディキャップインデックスだけを取得すること。」と規定している。また、続けて「そのハンディキャップインデックスは、そのプレーヤーがメンバーとなっているその他すべてのゴルフ倶楽部を含め、どこでも適用される。」と規定している。

プレーヤーが、自身のホーム倶楽部と異なる管轄地域に所在するゴルフ倶楽部のメンバーである場合、その地域を管轄する承認された協会が発行するハンディキャップインデックスを別途持つことが義務づけられることがある。双方の承認された協会が発行するハンディキャップインデックスが同じになるよう、すべての採用可能なスコアを、ホーム倶楽部および異なる管轄地域に所在するゴルフ倶楽部の両方に提出することは、プレーヤーの責任である。

もし異なる承認された協会が発行するハンディキャップインデックスに相違が生じた場合は、ラウンドが行われる管轄地域のハンディキャップインデックスはすべての承認されるプレー形式での未提出のスコア、および/または適切な場合に委員会が適用した調整を含むように更新されるべきである。これらの管轄地域以外の場所でプレーする場合は、最も少ないハンディキャップインデックス、あるいは直近の20枚のスコアを含むハンディキャップインデックスを使用するべきである。

II

ハンディキャップ査定に 使用するスコア

規則 2~4

規則
2ハンディキャップ査定に採用
可能なスコア

規則の理念:

プレーヤーがハンディキャップ査定のために提出するスコアは、本人のハンディキャップインデックス計算の中核を成す。

規則 2 は、スコアをハンディキャップ査定に採用するために満たさなければならない条件を扱っている。これらの条件により、スコアはプレーヤーの技量の合理的な証明となり、最終的に、実証された技量を反映したハンディキャップインデックスとなる。

2.1 採用可能なスコア

以下のラウンドのスコアは、ハンディキャップ査定に採用可能である:

- 承認されたプレー形式でプレーされ (規則 2.1a 参照)、9 ホールまたは 18 ホールスコアとしてハンディキャップ査定に採用するための最少ホール数を満たすもの (規則 2.2 参照)
- マーカーとして行動できる最低 1 名以上の他者 (ゴルフ規則のその他の要件を満たすことを条件として) を同伴してプレーしたもの
- ゴルフ規則に従ってプレーしたもの (規則 2.1b 参照)
- 最新のコースレーティングとスロープレーティングを持ち、距離と通常のプレー難易度が一定に維持されているゴルフコースでプレーしたもの (付属規則 G 参照)
- アクティブシーズン中のゴルフコースでプレーしたもの

これに加えて、プレーヤーのスコアは常に、ハンディキャップ規則に従って証明されなければならない (規則 4.4 参照)。

上記の要件が 1 つ以上満たされていない場合、そのスコアはハンディキャップ査定に採用することができない。

規則 2.1 の詳説:

2.1/1 - 委員会が設定した順番通りにホールをプレーしなかった場合でも、そのスコアはハンディキャップ査定に採用できる

ゴルフ規則 5.1 は、ひとつのラウンドは競技を管理する委員会またはゴルフコースを管理する委員会のいずれかが設定した順番でホールをプレーすることを義務づけている。しかしながら、もし委員会が設定したホールの順番通りにラウンドをプレーしなかった場合でも、そのプレーヤーが失格となっていないことを条件に、そのスコアはハンディキャップ査定に採用することができる。

例:

- ゴルフコースが混んでいて、スタートホールを変えることによってプレーのペースが速くなる場合。
- プレーするホールの順番を変えることによって、より多くのプレーヤーがラウンドを終了できるようになる場合。特に日照時間が限られる時期。

2.1/2 - マッチプレー形式とストロークプレー形式を同時にプレーした場合のスコア

マッチプレーの競技に参加しているプレーヤーが同時にストロークプレーのラウンドもプレーし、両方とも承認されたプレー形式である場合、ハンディキャップ査定のために提出すべきスコアは、ストロークプレーのスコアである。マッチプレーのスコアは提出するべきでない。

2.1/3 - 臨時のグリーンやティーを使用した場合の、ハンディキャップ査定のためのスコアの提出

承認された協会は、臨時のコースコンディションでプレーした場合のスコアをハンディキャップ査定に採用できるか否かを決定するべきである。また承認された協会は、一時的な変更を反映するために、コースレーティングとスロープレーティングを一時的に変更する必要があるか否かを決定するべきである (付属規則 G 参照)。

2.1a 承認されたプレー形式でプレーしたスコア

承認されたプレー形式は、以下である：

プレー形式	ラウンドのタイプ	ホール数	
		9	18
個人ストロークプレー	競技ラウンド	9	18
	一般のプレー	9	18
	ステーブルフォード – 競技ラウンド	9	18
	ステーブルフォード – 一般のプレー	9	18
	パー/ボギー – 競技ラウンド	9	18
	パー/ボギー – 一般のプレー	9	18
	最大スコア – 競技ラウンド	9	18
	最大スコア – 一般のプレー	9	18
フォアボールストロークプレー	競技ラウンド	9	18
	一般のプレー	9	18
	ステーブルフォード – 競技ラウンド	9	18
	ステーブルフォード – 一般のプレー	9	18
	パー/ボギー – 競技ラウンド	9	18
	パー/ボギー – 一般のプレー	9	18
	最大スコア – 競技ラウンド	9	18
	最大スコア – 一般のプレー	9	18
個人マッチプレー	競技ラウンド	9	18
	一般のプレー	9	18
フォアボールマッチプレー	競技ラウンド	9	18
	一般のプレー	9	18

- (i) プレーヤーの管轄地域内でプレーしたラウンドの場合：ハンディキャップ規則が定める他の条項に従うことを条件として、プレーヤーの管轄地域における承認されたプレー形式でプレーした採用可能なスコアは、ハンディキャップ査定のために提出しなければならない（図 2.1a 参照）。
- (ii) プレーヤーの管轄地域以外でプレーしたラウンドの場合：ハンディキャップ規則が定める他の条項に従うことを条件として、以下の通りとする：

- ラウンドが行われた地域における承認されたプレー形式でプレーしたスコアは、たとえそのプレー形式がプレーヤーの管轄地域では承認されていなかったとしても、ハンディキャップ査定に採用できるものとし、提出しなければならない。
- ラウンドが行われた地域における承認されていないプレー形式でプレーしたスコアは、そのプレー形式がプレーヤーの管轄地域では承認されたプレー形式である場合、ハンディキャップ査定に採用できるものとし、提出しなければならない。
- ラウンドが行われた地域およびプレーヤーの管轄地域の両方において承認されていないプレー形式でプレーしたスコアは、ハンディキャップ査定に採用することはできず、プレーヤーのスコア記録に登録してはならない。

（図2.1a参照）

図2.1a：ハンディキャップ査定にスコアを提出する場合

	管轄地域で承認された形式	管轄地域で承認されていない形式
管轄地域外において承認された形式でプレーしたスコア	✓	✓
管轄地域外において承認されていない形式でプレーしたスコア	✓	✗

✓ スコアを提出 ✗ 採用できない

規則2.1aの詳説：

2.1a/1 - ハンディキャップ査定に採用できないスコア

いくつかのプレー形式や特定の制限付き競技の条件のもとでプレーされたスコアは、ハンディキャップ査定に採用することができない。

次のイラスト図は採用できないスコアの例を示したものだが、すべての例を網羅していないため、スコアの採用可否に疑問がある場合は、プレーするゴルフ倶楽部または承認された協会に問い合わせることを勧める。



指導を受けながらコースでプレーした



規則不適合の用具を使用した



使用できるクラブの本数や種類が制限されていた



他者によってスコアを証明することができない



必要なホール数をプレーしていない



プレーヤーが自分の球をプレーしていない
例えばスクランブル形式

2.1a/2 - 所属しているゴルフ倶楽部によって運営されていない競技のスコア

規則 1.3 (i) では、プレーヤーは「実証された技量を合理的に証明するためにすべての採用可能なスコアを提出すること」が期待されると規定している。ハンディキャップ規則が定める他の条項に従うことを条件として、たとえそれが承認された協会に所属していない団体（例えば、ソサエティーやリーグ）によって運営されていた競技のスコアであっても、承認されたプレー形式で採用可能なスコアはハンディキャップ査定のために提出しなければならない。

そうしたスコアがその競技を運営する団体によって自動的に提出されない場合、プレーヤーは承認された協会が定める手続きを用いてそのスコアの提出を義務付けられる。

プレーヤーが採用可能なスコアを提出しない、あるいは承認された協会が定める手続きに従わない場合、ハンディキャップ委員会は規則 7.1b に従って対処すべきである。

2.1b ゴルフ規則に従ってプレーしたスコア

ハンディキャップ査定に採用可能となるためには、ゴルフ規則に従ってラウンドをプレーしなければならないが、以下の条件に従う：

- (i) **競技ラウンド**：プレーヤーが、ゴルフ規則の違反によって競技失格となったが、この違反がプレーヤーに著しいスコアの利益を与えるものではなかった場合、そのスコアはハンディキャップ査定に採用可能とするべきである。

プレーヤーが、それ以外の（著しいスコアの利益を与える）ゴルフ規則の違反によって競技失格となった場合、そのスコアはハンディキャップ査定に採用できない。

最終判断はその状況に応じた委員会の裁量に委ねられる。

- (ii) **一般のプレー**：競技が開催されていない時に、プレーヤーが次のいずれかのことを行った場合、通常はそのスコアはハンディキャップ査定に採用できない：

- プレーヤーがゴルフ規則に違反し、ゴルフ規則に基づく正しい罰を適用しなかった。
- プレーヤーが意図的にゴルフ規則を無視した。

プレーヤーがローカルルールひな型に定められた要件に従ってプレーしたが、コースを管理する委員会がそのローカルルールを採用していなかった場合、そのスコアはハンディキャップ査定に採用可能とすることができる。委員会が採用したローカルルールにプレーヤーが違反した場合も、同様の状況が適用される。

ローカルルールに関連してスコアをハンディキャップ査定に採用可能とすることができる状況の例は、以下の場合を含む：

- プレーヤーがストロークと距離に代わる選択肢に従ってプレーしたが、このローカルルールひな型が採用されていなかった。
- プレーヤーが距離計測機器を使用したか、距離計測機器の使用を禁止するローカルルールひな型が採用されていた。

最終判断はその状況に応じた委員会の裁量に委ねられる。

規則2.1bの詳説：

2.1b/1 - プレーヤーが競技失格となったが、著しいスコアの利益を得なかった場合の例

プレーヤーが競技失格となったが、スコア的に著しい利益を得なかった場合、委員会はそのスコアをハンディキャップ査定に採用する裁量権を持つ。

委員会が、著しいスコアの利益を得なかったとみなす可能性のある状況とは、次の例を含む：

ゴルフ規則	失格の種類	ハンディキャップ査定上の推奨措置
3.3b (2)	スコアカードの署名を怠ったが、罰を修正するローカルルールひな型が採用されていなかった	スコア採用可能
3.3b (2)	スコアカードを迅速に提出しなかった	スコア採用可能
3.3b (3)	スコアカードに記入されたスコアが実際のスコアより少なかった	訂正したスコアを採用可能

2.1b/2 - プレーヤーが、著しいスコアの利益を受ける可能性のある行動によって競技失格となった場合の例

委員会が、プレーヤーが著しいスコアの利益を得たと決定できる状況とは、次の例を含む：

ゴルフ規則	失格の種類	ハンディキャップ査定上の推奨措置
1.3b	複数のプレーヤーが、故意に知っている規則や罰を適用しないことに同意した	スコア採用不可
4.1a	不適合クラブでストロークした	スコア採用不可
4.3a (1)	高低差を計測するために距離計測機器を使用した	スコア採用不可

2.1b/3 - 一般のプレーでゴルフ規則に従ってプレーしなかったホール

一般のプレーでプレーヤーがゴルフ規則に違反し、正しい罰を適用することを故意に怠った場合、通常はそのスコアはハンディキャップ査定に採用すべきでない。但し、状況によっては、委員会は以下のいずれかによって採用可能なスコアとする裁量権を持つ。

- そのホールの実際のスコアを記録する
- そのホールのスコアをネットダブルボギーに調整する
- ネットパーのスコアを適用する

2.2 採用可能なスコアとなるための最少ホール数

2.2a 18ホールスコアの場合

18ホールスコアをハンディキャップ査定に採用するためには、最少14ホールをプレーしなければならない。

終了したホールが9ホールを超えるが14ホールに満たない場合は、ハンディキャップ規則の他の条項に従うことを条件としてそのスコアは9ホールスコアとして提出すべきであり、余剰ホールのスコアは破棄する。

注：

1. 採用可能な9ホールスコアは、最新のコースレーティングとスロープレーティングを持つ9ホールでプレーされたものでなければならない（規則2.1参照）。
2. (余剰ホールを破棄して)採用可能な9ホールスコアとした場合、9ホールのスコアディファレンシャルを計算しなければならず（規則5.1b参照）、18ホールのスコアディファレンシャルを作り出すために別の9ホールのスコアと連結しなければならない。

2.2b 9ホールスコアの場合

9ホールスコアをハンディキャップ査定に採用するためには、最少7ホールをプレーしなければならない。9ホールスコアとして必要な最少ホール数に満たないスコアをプレーヤーが記録した場合は、ハンディキャップ査定に採用できない。

注：

採用可能な9ホールスコアは、最新のコースレーティングとスロープレーティングを持つ9ホールでプレーされたものでなければならない（規則2.1参照）。

規則

3

ホールスコアの調整

規則の理念:

ハンディキャップ査定のために提出するスコアは、プレーヤーの実証された技量を反映していない1ホールや2ホールの悪いホールスコアの影響を過度に受けるべきでない。加えて、プレーヤーが毎ホールで自分の球をホールアウトしなかったときの不完全なスコアも、プレーヤーの技量を合理的に証明することができ、ハンディキャップ査定に使用することができる。

規則 3 は、スコアをハンディキャップ査定に採用できる状況、およびホールスコアをどのように調整すべきかを扱っている。

3.1 ハンディキャップ査定のためのホールスコアの上限

3.1a ハンディキャップインデックス取得前

初回のハンディキャップインデックスを取得するためにプレーヤーが提出するスコアは、各ホールの上限スコアを パー + 5 打とする (図 3.1a 参照)。

図3.1a: ハンディキャップ未取得の場合のホールスコア上限

Name:	JOHN SMITH	Handicap:	未取得	Date:	01/07/24					
ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
パー	4	3	4	3	4	5	4	4	4	35
スコア	6	7	6	5	7	12	6	7	7	63

← グロススコア

← HDCP査定のための調整グロススコア

↑
ホールスコアの上限 = パー + 5

3.1b ハンディキャップインデックス取得後

ハンディキャップインデックスを持っているプレーヤーの場合、各ホールの上限スコアはネットダブルボギーとし、次の方法で計算する:



(* プラスハンディキャップのプレーヤーは、そのホールでプレーヤーが与えるハンディキャップストロークを差し引く)

(図 3.1b 参照)

- ステープルフォード形式では、ネットダブルボギーはホールの最少スコアに等しい (0 ポイント)
- 1ラウンドでネットダブルボギー調整を適用するホールの数に制限はない
- 競技の条件 (規則 7.2 a 参照) またはハンディキャップアローワンスにより、受けるハンディキャップストローク数が制限される場合は、この制限を適用したプレーイングハンディキャップは、競技会で以下を決定する目的のみに使用するべきである:
 - 順位および表彰者
 - プレー形式に応じた、競技で受けたり与えたりするハンディキャップストローク数
- ネットダブルボギー調整に使用するコースハンディキャップは、制限が加わっていないそのプレーヤーのフルコースハンディキャップとすべきである。その際、コースハンディキャップは端数を四捨五入した整数とする (規則6.1a、6.1b参照)。
- 算出したコースハンディキャップが 54 を超え、プレーヤーが 1 ホールで受けるハンディキャップストロークが 4 打以上となる場合、ハンディキャップ査定のためのホールスコア上限は、パー + 5 打とする。
- ホールスコアのネットダブルボギー調整は、次のいずれかの方法で適用することができる:
 - ホール・バイ・ホールのスコアを提出している場合は、自動適用
 - 1ラウンドの調整グロススコア合計を提出している場合は、プレーヤーが適用

図3.1b: ホールスコア上限のためのネットダブルボギー調整の適用方法

Name: JOHN SMITH Handicap: 16 Date: 12/09/24

ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	Out
パー	4	4	4	3	4	5	3	4	4	35
HDCP ナンバー	7	13	3	15	11	1	17	5	9	
スコア	5	5	6	4	5	5	3	5	5	43

✓ =ストロークを受けるホール

ホール	10	11	12	13	14	15	16	17	18	In	TOTAL
パー	3	4	5	3	4	5	3	4	4	35	70
HDCP ナンバー	18	12	4	14	8	2	16	6	10		
スコア	3	4	6	4	5	5	3	9	6	45	88

← グロススコア

← HDCP査定のための調整グロススコア

← ネットダブルボギー

パー
4

+

2打 (ダブルボギー)
2

+

受ける ストローク
1

=

上限
7

3.2 プレーしなかったホール

3.2a 1ホールまたは複数のホールをプレーしなかった理由

ラウンドを終了しなかったり、そのラウンド中に1ホールまたは複数のホールがプレーされない理由は様々である。正当な理由には以下などが挙げられる:

- 日没または天候がプレーの継続を妨げた
- プレーヤーの怪我または病気
- 最終ホールに到達する前にマッチが終了した

- 以下の理由で、プレーしているコースには9あるいは18に満たないホール数しかなかった
 - コース管理作業またはコース改造のために、そのホールを使用しないことを委員会が宣言していた
 - 委員会が通常とは異なるホール数での競技を開催していた(例えば、冬季期間)
- 委員会が正当と考えるその他の状況

プレーヤーが正当な理由なしにラウンドを終了しなかったり、そのラウンド中に1ホールまたは複数のホールをプレーしなかったと決定した場合、そのスコアはハンディキャップ査定に採用できない。不当な理由には以下などが挙げられる:

- 天候はプレーの継続を妨げていない
- プレーヤーはそのホールではいつも苦勞することを知っており、悪いホールスコアとなりそうだからという理由で、ゴルフコースの特定のホールをプレーしない
- 悪いスコア(悪いプレーの場合)や良いスコア(良いプレーの場合)を提出することを避けるために、ゴルフコースの最終ホールをプレーしない
- 委員会が不当と考えるその他の状況

ハンディキャップ委員会が、プレーヤーの行動が不当なスコアの利益を受けるためであったと決定する場合、そのプレーヤーのスコア記録にペナルティスコアの提出を検討することができる(規則 7.1b (ii) 参照)。

3.2b プレーしなかった1ホールまたは複数のホールのスコア記録

未完了のラウンドあるいは1ホールまたは複数のホールをプレーしなかった場合のスコアは、特に以下の場合にだけハンディキャップ査定に採用できる:

- 9ホールまたは18ホールスコアとして採用するために必要な最少ホール数をそのラウンドでプレーしていた(規則 2.2 参照) 且つ、
- そのラウンドを終了しなかった正当な理由があった(規則 3.2a 参照)

ハンディキャップ委員会が、正当な理由で1ホールまたは複数のホールをプレーしなかったと決定する場合、そのプレーしなかったホールについて予想されるスコアを用いて9ホールまたは18ホールのスコアディファレンシャルが作られる。

注:

1. プレーヤーが1ホールまたは複数のホールをプレーしなかった理由が不当と考えられる場合、そのスコアはハンディキャップ査定に採用できないが、そのプレーヤーのスコア記録にペナルティスコアの提出を検討することができる(規則 7.1b (ii) 参照)。

- すべてのホールを終了する前にその競技の結果が決まってしまう、プレーヤーが残りのホールをプレーすることに決めた場合、そうした残りのホールの実際のスコアを記録すべきである。
- ホールをスタートしたならば、そのホールはプレーしたとみなされる。

規則3.2bの詳説:

3.2b/1 - 予想されるスコアを用いたスコアディファレンシャルの計算手続き

予想されるスコアの計算は自動化されており、採用できる 9 ホールまたは 18 ホールのスコアの中でプレーしなかった 1 ホールまたは複数のホールに対して統計値を割り当てるために用いられ、その結果、ハンディキャップ規則の他の条項に従うことを条件として、9 ホールまたは 18 ホールのスコアディファレンシャルが計算できる。

予想されるスコアを用いたスコアディファレンシャルの計算は以下のように要約できる:

- プレーしなかった 1 ホールまたは複数のホールの予想されるスコアディファレンシャルは、所与のハンディキャップインデックスと標準的な難易度のコースに基づいて計算される。
- プレーしたホールのスコアディファレンシャルは、そのプレーヤーの実際のスコアとプレーしたホールのレート値を用いて計算される。
- プレーしたホールのスコアディファレンシャルは、9 ホールまたは 18 ホールのスコアディファレンシャルを作り出すために、予想されるスコアディファレンシャルと連結される。

3.2b/2 - プレーしなかったホールにネットパーを用いる

ある特定の状況では、そして承認された協会が承認した場合のみ、プレーしなかったホールについて予想されるスコアの代わりにネットパーのスコアを用いることができる。ネットパーのスコアを採用することができるであろう状況の例は以下を含む:

- プレーヤーが、プレーしなかったホールを含み、調整グロススコアを提出することが義務付けられている
- コース改造やコース管理のために、1 ホールあるいは複数のホールが使用されおらず、ある期間にわたってすべてのプレーヤーに影響している

3.2b/3 - プレーしなかったホールの指定

ラウンド中に 1 ホールまたは複数のホールをプレーせず、そのプレーヤーが調整グロススコアを提出することが義務付けられていない場合、そのプレーヤーは、承認さ

れた協会の規定に基づいて、ホール・バイ・ホールのスコアを提出し、どのホールをプレーしなかったのかを指定しなければならない。

そうすることは、プレーしなかったホールの予想されるスコアの計算を含め、ハンディキャップ規則に規定されているすべての手順が正確に実行されることを確実にするためである。

3.3 スタートしたがプレーヤーがホールアウトしなかったホール

プレーヤーがホールをスタートしたが、ホールアウトしないことになるかもしれない様々な状況がある。例えば、以下のよう:

- そのホールの結果がすでに決まっていた
- マッチプレーでそのホールがコンシードされた
- フォアボール形式でプレーヤーのパートナーが先に良いスコアで終了したために、そのプレーヤーが自分の球を拾い上げた
- 特定のホールで、プレーヤーがすでにそのホールのネットダブルボギーに達していた

プレーヤーがホールをスタートしたが、正当な理由によりホールアウトしなかった場合、ハンディキャップ規則の他の条項に従うことを条件として、プレーヤーはその状況とプレー形式に適切な最も可能性の高いスコアとネットダブルボギーのいずれか少ない方を記入しなければならない。

最も可能性の高いスコアとは、以下を合計したものである:

- そのホールでその位置までに実際に費やしたストローク数
- その位置からホールを終了するために必要と思われる、最も可能性の高いストローク数
- そのホールのプレー中に受けた罰打

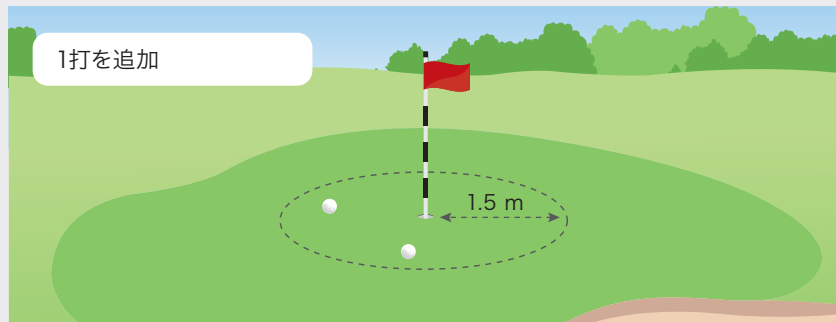
最も可能性の高いスコアは、いかなるホールにおいても、次のガイドラインに従って決定すべきである:

球の位置	加えるストローク数
球がパッティンググリーン上にあり、ホールまでの距離が1.5メートル以内の場合	1打を追加
球の位置からホールまでの距離が1.5～20メートルの場合	球の位置、グリーンの難易度、およびプレイヤーの技量に応じて2打または3打を追加
球の位置からホールまでの距離が20メートルを超える場合	球の位置、グリーンの難易度、およびプレイヤーの技量に応じて3打または4打を追加

(図 3.3 参照)。

図3.3：スタートしたがプレイヤーがホールアウトしなかったホールの最も可能性の高いスコア

▼ 球がパッティンググリーン上にあり、ホールまでの距離が1.5メートル以内の場合



▼ 球からホールまでの距離が1.5～20メートルの場合



▼ 球からホールまでの距離が20メートルを超える場合



注：

1. ホールアウトしなかったことが正当な理由によるものであり、且つ不当なスコアの利益を得ることが目的ではないことを条件として、プレイヤーの調整グロススコアに含むことができる最も可能性の高いスコアの数に制限はない。
2. ハンディキャップインデックス取得済みのプレイヤーの場合、ハンディキャップ査定目的においては、いかなるホールにおいても最も可能性の高いスコアはネットダブルボギーを超えてはならない。
3. 初回のハンディキャップインデックス取得のためにスコアを提出するプレイヤーの場合は、いかなるホールにおいても、最も可能性の高いスコアはパー+5打を超えてはならない。
4. ホールアウト前にプレイヤーが自分の球を拾い上げることを認めていないプレー形式（例えば、個人グロススコア/ネットスコアストロークプレー競技）では、そのプレイヤーは競技失格となる（規則 2.1b 参照）。
5. ストロークプレーの最大スコア形式においては、プレイヤーが自身のネットダブルボギーに到達する前に、競技の条件で定められた最大スコアに到達することがあり得る。そのような場合、プレイヤーはそのホールに、最も可能性の高いスコアとネットダブルボギーのいずれか少ない方のスコアを記入すべきである（ゴルフ規則 21.2 参照）。

規則3.3の詳説：

3.3/1 – 最も可能性の高いスコアを使う意味と、いつそれを使うべきか

最も可能性の高いスコアは、プレーヤーがホールをスタートしたが自分の球をホールアウトしなかった場合に、そのホールの想定スコアを記入するために使用する。これは、そのホールを終了するために必要なストローク数を合理的に評価したものであるべきである。

例えば、フォアボールマッチプレー競技において、プレーヤーのパートナーがグリーンの外から第3打をカップインさせた。そのプレーヤーは4打目でホールまで14メートルの位置につけていたが、このサイドのスコアはそれ以上良くならない。時間を節約するためにそのプレーヤーは球を拾い上げ、ハンディキャップ査定のために**最も可能性の高いスコア**を記入することができる。

最も可能性の高いスコアのガイドラインに基づいて、そのプレーヤーはハンディキャップ査定のために、そのホールのスコアを6または7と記入することになる（そこまでに費やした4打に2打または3打を追加）。

規則
4

スコアの提出

規則の理念：

規則4はハンディキャップインデックスの初回の取得および取得済みハンディキャップインデックス維持のためにハンディキャップ査定に採用可能なスコアを提出する手順を扱っている。

プレーヤー本人またはプレーヤーから委任された者がスコアを適時提出することにより、プレーヤーのゴルフ技量がリアルタイムに更新される。

また本規則は、プレーヤーが採用可能なスコアとともに提出を義務づけられる情報、およびスコアの証明方法について説明している。

4.1 スコア記録への登録が必要な情報

4.1a 通則

- (i) プレーヤーのスコア記録に登録するスコアは、以下でなければならない：
- 採用可能なスコア（規則 2.1 参照）
 - ラウンドがプレーされた日の翌日以降にスコアが提出された場合を含み、正しい時系列順に登録する
- (ii) スコアは、承認された協会が定める形式で提出しなければならない。それは以下の形式とすることができる：
- ホール・バイ・ホールのスコア（強く推奨）；（プレーしなかったホールの指定について詳説 3.2b/1 参照）
 - 調整グロススコア
 - ステータスポイント
- (iii) プレーヤーはスコア提出時に以下の情報が自身のスコア記録に含まれるようにしなければならない：
- プレー日
 - プレーに使用したティーのコースレーティングとスロープレーティング

- 必要に応じて、各ホールのパールとハンディキャップナンバー

この情報は一般的にスコアカードに記載されている。

- (iv) ハンディキャップ委員会は、提出されたスコアができるだけ速やかにプレーヤーのスコア記録に登録されるようにするべきである。
- (v) 上記 (iii) に明記された情報に加えて、ラウンドがプレーされた日の翌日以降に提出されたスコアにも、プレーイングコンディション計算を適用するべきである（規則 5.6 参照）。

（スコア記録の参考例は付属規則 B を参照）

規則 4.1a の詳説：

4.1a/1 - スコアカードに記載されているパールが、スコア提出用端末に登録されているパールと異なる場合

パールの設定に関する責任は、承認された協会、またはナショナル協会の裁量でゴルフクラブが持つ。したがって、プレーヤーがハンディキャップ査定のために調整されたホールスコアの提出を義務づけられていて、プレーしたゴルフコースの正しいパール数値が不明の場合には、プレーヤーはハンディキャップ査定のためにスコアを提出する前に、正しいパールの数値を確認すべきである。

4.1a/2 - スコアに関するその他の情報

承認された協会は、スコアに関するその他の情報を提出することをプレーヤーに義務付けることができる。それは以下のことを含むが、これらに限定されない：

- マーカーの名前
- 1 ホールまたは複数のホールをプレーしなかった理由
- スコアタイプの指定—ハンディキャップ検証手続きの支援となるため（規則 7.1a と付属規則 B 注 5 参照）

4.1b ハンディキャップインデックス取得前のスコアの場合

初回のハンディキャップインデックスを取得するために、ホール・バイ・ホールのスコアを提出することをプレーヤーに義務づける。このことにより、ハンディキャップ委員会は、新規プレーヤーのゴルフ技量をより正確に評価することができる。。

プレーヤーのスコア記録に関する詳細は、付属規則 B を参照。

4.2 スコアを提出できる者

採用可能なスコアは、プレーヤー本人、ハンディキャップ委員会、競技を管理する委員会、またはプレーヤーに委任された者が提出しなければならない。

4.3 スコア提出の期限

プレーヤーは、ラウンド終了後、プレー当日中のできるだけ速やかに、および現地時間の深夜 0 時まで、スコアを提出するべきである。

プレーヤーがプレー当日中にスコアを提出しなかった場合は：

- そのプレーヤーのハンディキャップインデックスはプレーの翌日に更新されない（規則 5.4 参照）。
- そのスコアは当日のプレーイングコンディション計算（PCC）に含まれない（規則 5.6 参照）。

そのスコアがプレーヤーのスコア記録に登録された日が、プレー日の翌日以降で既にプレー日の PCC が算出された後だった場合、そのプレーヤーのスコアは PCC に含まれないが、そのプレーヤーのスコアディファレンシャル計算には PCC 調整値を適用するべきである。

スコアが順不同で提出された場合は：

- そのスコアは正しい時系列順でプレーヤーのスコア記録に登録するべきである。
- 既に公表されているプレーしたゴルフコースの当日の PCC 調整値を、スコアディファレンシャル計算に適用するべきである。
- そのプレーヤーのハンディキャップインデックスを再計算するべきである。

注：

ハンディキャップ委員会は、繰り返しスコアの適時提出を怠ったプレーヤーに関して調査するべきである（規則 7.1b 参照）。

そのプレーヤーが不当な利益を得るために行動したことを示す証拠が存在しない場合は、介入する期間に提出されたすべてのスコアは、ハンディキャップ査定のために有効とするべきである。

4.4 スコアの証明

ハンディキャップ査定のために提出するスコアは、ラウンド終了後できるだけ速やかにスコア相互検証が受けられるようにしなければならない。スコア相互検証のプロセスを促進するために、以下の手順を実施する：

- (i) プレーヤーまたはプレーヤーに委任された者は、ラウンド終了後できるだけ速やかにスコアを提出しなければならない。
- (ii) ハンディキャップ委員会は、提出されたスコアを、できるだけ速やかにプレーヤーのスコア記録に登録するように努めるべきである。

規則4.4の詳説：

4.4/1 - スコアの証明方法としてのスコア相互検証の意味

スコア相互検証とは、通常以下の者によって実施される：

- 同じ組でプレーする者またはそのラウンド中に一緒にいる者、および／または、
- 同じゴルフ倶楽部にプレーヤーとして所属するメンバー。

すべての場合において、これらの者は以下の条件を満たしていなければならない：

- 提出されたスコアを支持したり、提出されたスコアに異常があるプレーヤーに対して異議を申し立てるための合理的根拠を持っている。
- プレーヤーの実証された技量に関する知識を持っており、そのプレーヤーに付与されたハンディキャップインデックスを合理的に確認したり、異議を申し立てることができる。

異議はプレーヤーに対して申し立てられるものとし、および／またはハンディキャップ委員会に報告して検討を仰ぐ。

スコア相互検証の手順を円滑に実施できるようにするため、プレーヤーのスコア記録はゴルフ倶楽部のその他すべてのメンバーが閲覧できるようにしておかなければならない（付属規則 B 参照）。

4.5 初回のハンディキャップインデックス取得に必要なスコア枚数

初回のハンディキャップインデックスを取得するためには、プレーヤーは最低 54 ホールの採用可能なスコアを提出しなければならない。

III

ハンディキャップ計算と ハンディキャップインデックスの 更新

規則 5~6

規則 5 ハンディキャップインデックスの計算

規則の理念:

プレーヤーのハンディキャップインデックスはそのプレーヤーの実証された技量を示すべきであり、必要に応じてプレーヤーの実証された技量と一致しないスコアも反映する。

規則5はハンディキャップインデックスの計算手順を扱っており、またプレーヤーのハンディキャップインデックスが本人の技量を常に反映し、すべてのゴルファーにとって公平性が保ち続けられるようにするために必要な安全措置を組み込んでいる。この安全措置は以下の機能を含む:

- ラウンドのプレーが行われた時のコンディションを考慮に入れる
- 過去の一定期間において実証された技量を記憶しておく
- 一定期間におけるプレーヤーのハンディキャップインデックスの増加を制限する
- 例外的なスコアが提出された場合に、プレーヤーのハンディキャップインデックスに追加の調整を適用する

5.1 スコアディファレンシャルの計算

5.1a 18ホールスコアの場合

18 ホールのスコアディファレンシャルは次の通り算出し、端数を四捨五入した小数第1位の数値で表示する:

$$\text{スコアディファレンシャル} = (113 \div \text{スロープレーティング}) \times (\text{調整グロススコア} - \text{コースレーティング} - \text{PCC 調整値})$$

注:PCC 調整値は-1.0 ~ +3.0 の範囲 (規則 5.6 参照)。

18 ホール未満のゴルフコースで18ホールのスコアがハンディキャップ査定に採用できるためには、指定された18ホールについてコースレーティングとスロープレーティングが発行されていなければならない。18ホールのスコアディファレンシャルの計算はハンディキャップ規則に規定されている通常の手順で実行される。

5.1b 9ホールスコアの場合

9ホールのスコアディファレンシャルは以下のように計算される。

$$\text{9ホールのスコアディファレンシャル} = (113 \div \text{9ホールのスロープレーティング}) \times (\text{9ホールの調整グロススコア} - \text{9ホールコースレーティング} - (0.5 \times \text{PCC 調整値}))$$

(i) 9ホールのラウンドを終了

18ホールのスコアディファレンシャルは以下のどちらかで作られる:

- その9ホールのスコアディファレンシャルを既存の9ホールのスコアディファレンシャルと連結させる
- その9ホールのスコアディファレンシャルを計算される次の9ホールのスコアディファレンシャルと連結させる

(ii) 9ホールのラウンドの一部

プレーしたのが9ホール未満の場合、そのスコアは以下の場合にだけ9ホールのスコアディファレンシャルを計算するために用いられる:

- 9ホールスコアが採用可能となるための最少ホール数をプレーしていた (規則 2.2b)
- ラウンドを終了しなかった理由が正当とみなされた (規則 3.2a)

上記2つの両方の条件を満たす場合、そのプレーヤーがプレーしなかった1または複数のホールの予想されるスコアを用いて9ホールのスコアディファレンシャルが作られる (規則3.2b)。

それから、18ホールのスコアディファレンシャルは以下のどちらかで作られる:

- その9ホールのスコアディファレンシャルを既存の9ホールのスコアディファレンシャルと連結させる
- その9ホールのスコアディファレンシャルを計算される次の9ホールのスコアディファレンシャルと連結させる

そのラウンドを終了しなかった理由が不当とみなされた場合、そのスコアはハンディキャップ査定に採用できない。しかしながら、ハンディキャップ委員会は状況に応じてペナルティスコアを適用することを検討することができる (規則 7.1b)。

9ホールのスコアが採用可能となるために必要な最少ホール数をプレーしていなかった場合、そのスコアはハンディキャップ査定に採用できない。10ホール以上プレーしていた場合については規則 5.1aを参照。

注：

- その 9 ホールのスコアディファレンシャルは、18 ホールのスコアディファレンシャルを作るために 2 つ目の 9 ホールのスコアディファレンシャルと連結されるまで端数処理（四捨五入）を行わない。その 18 ホールのスコアディファレンシャルは、端数を四捨五入した小数第 1 位の数値で表示する。
- 連結していない 9 ホールのスコアは、スコア記録内の最新 20 枚目のスコアディファレンシャルより古くなった時点で破棄される。

9 ホール未満のゴルフコースで 9 ホールのスコアがハンディキャップ査定に採用できるためには、指定された 9 ホールについてコースレーティングとスロープレーティングが発行されていなければならない。9 ホールのスコアディファレンシャルの計算はハンディキャップ規則に規定されている通常の手順で実行される。

5.1c マイナススコアディファレンシャルの端数処理

調整グロススコアがコースレーティングより小さい場合、算出されるスコアディファレンシャルは負の値となる。このような場合、負の値は以下の例のように、ゼロ (0) 方向に端数処理する。

- 算出されたスコアディファレンシャルが -1.54 の場合、-1.5 に端数処理
- 算出されたスコアディファレンシャルが -1.55 の場合、-1.5 に端数処理
- 算出されたスコアディファレンシャルが -1.56 の場合、-1.6 に端数処理

5.2 ハンディキャップインデックスの計算

5.2a スコア枚数が20枚未満の場合

ハンディキャップインデックスは、スコア記録内に登録されているベストスコアディファレンシャルを使用して算出する。スコア記録内に登録されているスコアディファレンシャルが 20 枚未満の場合、以下の表を使用して、計算に使用するスコアディファレンシャルの枚数と適用する調整値を決定する。計算結果は、端数を四捨五入した小数第 1 位の数値で表示する。

スコア記録内に登録されているスコアディファレンシャルの枚数	ハンディキャップインデックス計算に使用するスコアディファレンシャルの枚数	調整値
3	ベスト1枚	-2.0
4	ベスト1枚	-1.0
5	ベスト1枚	0
6	ベスト2枚の平均	-1.0
7・8	ベスト2枚の平均	0
9～11	ベスト3枚の平均	0
12～14	ベスト4枚の平均	0
15・16	ベスト5枚の平均	0
17・18	ベスト6枚の平均	0
19	ベスト7枚の平均	0
20	ベスト8枚の平均	0

初回のハンディキャップインデックスの割り当て

- プレーヤーの初回のハンディキャップインデックスが最大ハンディキャップインデックスである 54.0（規則 5.3 参照）を超えて算出される場合、そのプレーヤーはハンディキャップインデックス 54.0 が割り当てられる。
- ハンディキャップ委員会は、プレーヤーの実証された技量に関する追加の証拠に基づいて、プレーヤーの初回のハンディキャップインデックスを上方修正または下方修正（最大 54.0 まで）することができる（規則 7.1a 参照）。

規則5.2aの詳説：

5.2a/1 - 以前の技量を示す証拠により、プレーヤーの初回のハンディキャップインデックスを修正する場合

プレーヤーが初回のハンディキャップインデックスを取得するためにスコアを 3 枚提出し、スコアディファレンシャルはそれぞれ 15.3、15.2、16.6 だった。

その結果、初回のハンディキャップインデックスは次の通り算出された：

最小スコア ディファレンシャル	−	調整値	=	初回のハンディキャップ インデックス
15.2		2		13.2

このプレーヤーは、長年ゲームから遠ざかっており、最近ゴルフ倶楽部に復帰したばかりだが、かつてジュニアゴルファーとして活躍し、8.0 前後のハンディキャップインデックスを保持していたことを、ハンディキャップ委員会は知っていた。

ハンディキャップ委員会は、プレーヤーが過去に実証した技量をより反映させるために、入手可能な証拠に基づいて、算出されたそのプレーヤーの初回のハンディキャップインデックスを修正することができる。

5.2a/2 – その後に提出したスコアが著しく予測と異なることにより、プレーヤーの初回のハンディキャップインデックスを修正する場合

プレーヤーが初回のハンディキャップインデックスを取得するためにスコアを 3 枚提出し、スコアディファレンシャルはそれぞれ 40.7、42.4、36.1 だった。

その結果、初回のハンディキャップインデックスは次の通り算出された：

最小スコア ディファレンシャル	−	調整値	=	初回のハンディキャップ インデックス
36.1		2		34.1

このプレーヤーは、その後さらに 3 枚のスコアを提出し、スコアディファレンシャルはそれぞれ 45.9、43.6、45.0 だった。

提出された 6 枚のスコアを使用し、プレーヤーのハンディキャップインデックスは次の通り算出された：

ベスト2枚のスコア ディファレンシャル平均	−	調整値	=	初期のハンディキャップ インデックス
38.4		1		37.4

この場合、ハンディキャップ委員会は、算出されたハンディキャップインデックスと提出されたスコアを比較検証し、ハンディキャップインデックスがプレーヤーの技量をより正確に反映するように、調整値「-1」を取り除くべきであると結論付けることができる。

5.2b スコア枚数が20枚の場合

ハンディキャップインデックスは、スコア記録内に登録されているベストスコアディファレンシャルを使用して算出する。スコア記録内に登録されているスコアディファレンシャルが 20 枚以上の場合、以下の手順に従ってハンディキャップインデックスを算出する：

- 最新 20 枚のスコアディファレンシャルのうちベスト 8 枚の平均を算出し（例外的なスコアおよび/または委員会による修正を含む）、端数を四捨五入した小数第 1 位の数値で表示する。
- ベストスコアディファレンシャル 8 枚の平均と、ローハンディキャップインデックスの差を算出する。
 - 差が 3.0 を超える場合は、ソフトキャップ計算を適用する。
 - ソフトキャップ適用後、差が 5.0 を超える場合は、ハードキャップを適用する。

(規則 5.8 参照)

5.2c プラスハンディキャップインデックスの場合

プレーヤーのスコア記録に 20 枚のスコアディファレンシャルが登録されており、算出されたハンディキャップインデックスがマイナス数値となる場合、これはプラスハンディキャップインデックスを表す。

プレーヤーの初回のハンディキャップインデックス算出値が、ハンディキャップレンジの下限範囲（男女ともに）となる場合、一定レベルを下回るハンディキャップインデックスを発行する前に、ハンディキャップ委員会は、承認された協会が定める手順に従わなければならない（規則 5.2a 参照）。

規則5.2cの詳説：

5.2c/1 – プラス (+) ハンディキャップインデックスの指定

ハンディキャップ規則には、スクラッチ (0.0) よりも良いハンディキャップインデックスを獲得したゴルファーについて伝統的に使用される用語である「プラスハンディキャップ」の言及を多く含んでいる。

しかしながら、ネットスコアを計算する場合、「プラス」ハンディキャップの正しい記号はマイナスであり、この数学的矛盾はプレーヤーがエントリーフォームに自分のハンディキャップインデックスの記号を記入する方法とソフトウェアプロバイダーが計算機をプログラムする方法との間に一貫性の欠如をもたらすことがある。

すべての管轄を通じて一貫性を達成するために、以下のガイダンスが規定される：

- 「プラスハンディキャップ」のプレーヤーは、自分のハンディキャップインデック

スの前に常にプラスサイン (+) をつけるように奨励されるべきである。

- 「プラスハンディキャップ」以外のすべてのプレーヤーは、自分のハンディキャップインデックスの前に何もつけないことを奨励されるべきである。
- 競技主催者のデフォルト解釈は、前にプラス (+) サインがついたハンディキャップインデックスはプラスハンディキャップとすべきである。前にマイナス (-) サインがついたハンディキャップインデックスは問い合わせを確認すべきである。

5.3 ハンディキャップインデックスの上限

プレーヤーに発行できるハンディキャップインデックスの上限は 54.0 とする。

注：競技を管理する委員会は、エントリーできるハンディキャップインデックスの上限を設定することができる（規則 7.2 参照）。

5.4 ハンディキャップインデックスの更新頻度

プレーヤーのハンディキャップインデックスは、スコアが提出された翌日、またはその後できるだけ速やかに更新するべきである。

プレーヤーのハンディキャップインデックスが更新される前に新しいラウンドがプレーされる場合は、同一日に複数ラウンドをプレーする場合を含み、現存のハンディキャップインデックスをプレーヤーが使用することを勧める。しかしながら、状況によっては、競技を管理する委員会またはハンディキャップ委員会は、そのプレーヤーが使用するべきプレーイングハンディキャップを決定する裁量を持つ（規則 7.2 参照）。

規則5.4の詳説：

5.4/1 - 競技を管理する委員会がプレーヤーのプレーイングハンディキャップを修正できる状況の例

午前中に承認されたプレー形式のラウンドで非常に良いプレーをしたプレーヤーが、同じ日の午後に競技ラウンドをプレーする場合、ハンディキャップインデックスは翌日まで更新されないため、競技を管理する委員会はそのプレーヤーのプレーイングハンディキャップを修正することを決定できる。

委員会は、そのプレーヤーのプレーイングハンディキャップを修正するか否かを決定する前に、入手可能なすべての情報を考慮すべきである。これには、そのスコアがプレーヤーのハンディキャップインデックスに与えると思われる影響、ハンディキャップインデックスが更新されないことによってプレーヤーが不当な利益を得るか

どうかなどの情報も含むものとする。

5.4/2 - できるだけ速やかにスコアを登録することに関するゴルフ倶楽部の責任

プレーヤーのスコアを各日の終わりに登録することはゴルフ倶楽部の責任であり、ハンディキャップ規則を正しく運用するためにできるだけ速やかに行わなければならない。できれば深夜 0 時までに行うことが望ましい。このことは、以下のために重要である：

- ラウンドのプレー終了後できるだけ速やかにプレーヤーのハンディキャップインデックスが更新されるようにする（規則 5.4 参照）。
- プレーイングコンディション計算が実行されるようにする（規則 5.6 参照）。
- ゴルファー仲間同士で（必要に応じて）スコアを検証できるようにする。
- ハンディキャップ委員会のその他の責任を実行できるようにする（規則 7.1b 参照）。

この責任遂行を怠ると、ハンディキャップ規則の整合性を損なう恐れがある。

5.5 スコアの有効期限とハンディキャップインデックスの失効

登録されたプレーヤーのスコアに含まれる最新 20 枚は、時間の経過に関わらず、ハンディキャップインデックス計算の一部として使用され続ける。

別の 9 ホールのスコアと連結するのを待っている 9 ホールのスコア（該当する場合は、スコア記録内の 20 番目に古い 18 ホールのスコアより古くなった時点で破棄される。

ハンディキャップインデックスが失効するのは、プレーヤーが最低 1 箇所のゴルフ倶楽部のメンバーではなくなった時だけである。

注：プレーヤーのスコア記録は可能な限り維持できるようにするべきである。このことにより、そのプレーヤーが将来的に再びハンディキャップインデックスを取得する際に、ハンディキャップ委員会の助けとなる。

5.6 プレーイングコンディション計算

規則の理念:

コースレーティングは通常のプレーイングコンディションを基準としているが、ゴルフコースの難易度は日々大きく変化する可能性があり、その理由は以下の例が挙げられる:

- コースコンディション
- 気象条件
- コースセットアップ

プレーイングコンディション計算 (PCC) は、プレー当日のコンディションが通常のプレーイングコンディションと異なる場合に、それを補う調整が必要かどうかを決定する。これは、プレーヤーが提出した当日のスコアと、予想されるスコアリングパターンを比較する統計計算手順である。

ハンディキャップ計算における本機能の目的は、難しいプレーイングコンディションで出した平均的なスコアが、より易しいプレーイングコンディションで出した良いスコアより優れている場合があることを認識することである。調整を適用しなければ、このようなスコアがハンディキャップインデックスの計算から除外されてしまう恐れがある。

もし PCC が、提出された採用可能なスコアが予想されるスコアリングパターンと一致していると判断した場合は、その後の調整は適用されない。

調整は以下の基準で決定する:

- 予想されるスコアを達成したプレーヤーの数が予想値よりも著しく少なかった場合、結果としてコンディションは通常よりも難しかったと判断する。
- 予想されるスコアを達成したプレーヤーの数が予想値よりも著しく多かった場合、結果としてコンディションは通常よりも易しかったと判断する。

プレーイングコンディション計算 (PCC) とは:

- 通常、1日に1回のみ計算を実行する。
- ゴルフコースでプレーされた各日の採用可能なスコアに基づいて、調整が必要かどうかを決定する。その際、最低 8 枚以上の採用可能なスコアが必要である。
- 計算に使用するのは、ハンディキャップインデックス 36.0 以下のプレーヤーが提出した採用可能なスコアに限る。

- 提出された採用可能なスコアが 8 枚未満の場合は、調整値はゼロ (0) とする。
- スケールアップした 9 ホールスコアと 18 ホールスコアは計算に含まない (該当する場合)。
- 調整値は、-1.0、0.0、+1.0、+2.0、+3.0 のいずれかで決定することができ、すべてのプレーヤーのスコアディファレンシャル計算に適用する。

規則5.6の詳説:

5.6/1 - プレーイングコンディション計算の実行手順

プレーイングコンディション計算 (PCC) は自動計算で実行され、概要は次の通り:

1. 計算に含まれる各プレーヤーの予想されるスコアを算出する。
2. 該当するすべてのスロープレーティングを組み込んだ、対象ゴルフコースのスコアディファレンシャルの予想される標準偏差を算出する。
3. 当日に予想されるスコアより良いスコアまたは悪いスコアを出したプレーヤーの数を算定する。
4. 予想されるスコア範囲と同等のスコア、それよりも良いスコア、または悪いスコアを提出したプレーヤーの割合に基づいて、PCC 調整が必要かどうかを決定する。
5. 調整が必要な場合は、そのゴルフコースが当日にどれだけ難しかったか、または易しかったかを決定する。
6. これらの計算に基づいて、当日のプレーに適用する PCC 調整値を最終決定する。
7. PCC 調整値は、整数の値で適用する。

注:

- スコアディファレンシャル計算における PCC 調整値の適用方法については、規則 5.1a (18 ホールスコア)、および規則 5.1b (9 ホールスコア) を参照。
- 9 ホールの採用可能なスコアは、2 倍したスコアを PCC に使用する。2 倍した 9 ホールコースレーティングと 9 ホールスロープレーティングを使用する。
- 算出された PCC 調整値は、プレー当日に提出されたすべての採用可能なスコアに適用し、また当日にプレーしたが後日提出されたスコアにも遡って適用する。

5.6/2 - 同一日に2回以上のプレーイングコンディション計算を実行できる可能性のある状況

規則 5.6 は、プレーイングコンディション計算 (PCC) は 1 日に 1 回のみ実行する

ことを推奨している。

しかしながら、その日の一部または特定の競技に個別の PCC を実行することが認められる場合がある。例えば、次のような場合である：

- 1日の明らかに異なる2つの時間帯で極端な天候の違いがある場合。
- その日に開催される競技の参加者の技量が、同一日に一般プレーのラウンドを行うプレーヤーの技量と著しく異なる場合。

5.6/3 - 特定の競技に個別のプレーイングコンディション計算を実行する方法、および同一日の一般プレーのラウンドに適用する調整値

特定の競技に個別のプレーイングコンディション計算 (PCC) を実行する場合は：

- その競技に参加したプレーヤーのスコアのみを使用して個別の PCC を計算する。
- 個別の PCC で算出された調整値は、その競技に参加したプレーヤーのスコアディファレンシャル計算のみに適用する。
- 同じ日に同じゴルフコースでプレーしたその他すべてのプレーヤーについては、当日のすべての対象スコア（競技に参加したプレーヤーのスコアも含む）を使用して算出した PCC を適用する。

5.6/4 - プレーヤーが同じ日に同じコースで複数ラウンドをプレーし、個別の PCC が実行された場合

同じ日に同じコースで2ラウンド以上プレーし、そのうち1つ以上のラウンドに個別の PCC が実行された場合は、そのプレーヤーの各スコアディファレンシャル計算に別々の PCC を適用することができる。

5.6/5 - ホーム倶楽部以外の場所でプレーし、そのスコアをホーム倶楽部に提出した場合

プレーヤーが、ホーム倶楽部以外のゴルフコースでプレーし、そのスコアを自身のホーム倶楽部に提出した場合、プレーヤーのハンディキャップインデックスを更新する前に、プレーしたゴルフコースの当日のプレーイングコンディション計算 (PCC) を使用してスコアディファレンシャルを計算するべきである。

5.6/6 - 27ホール以上のゴルフ倶楽部でプレーイングコンディション計算を実行する場合

あるゴルフ倶楽部には、南コース、東コース、西コースの3つの9ホールゴルフコースがあり、ゴルファーは、(a) どのゴルフコースでも9ホールのプレーが可能で、(b)

どの9ホールの組み合わせでも18ホールのプレーが可能である（南／南、南／東、南／西、東／東、東／西、西／西）。

プレーイングコンディション計算 (PCC) は、コースレーティングとスロープレーティングが査定されている18ホールのゴルフコースに対して実行される。

規則 5.6 に明記されているすべての基準を満たす場合は、各組合せの18ホール毎に、PCC が毎日実行される。

5.6/7 - 27ホール以上のゴルフ倶楽部で9ホールしかプレーしなかった場合の、プレーイングコンディション計算の適用

あるゴルフ倶楽部には、南コース、東コース、西コースの3つの9ホールゴルフコースがあり、ゴルファーは、(a) どのゴルフコースでも9ホールのプレーが可能で、(b) どの9ホールの組み合わせでも18ホールのプレーが可能である（南／南、南／東、南／西、東／東、東／西、西／西）。

プレーヤーが南コースの9ホールだけをプレーした場合：

- そのスコアは、南／南、南／東、南／西の各18ホールの組み合わせのプレーイングコンディション計算 (PCC) に使用する。
- そのスコアは、プレーした9ホールのコースレーティングとスロープレーティングを使用して2倍する。
- 規則 5.6 に明記されているすべての基準を満たす場合は、各18ホールの組み合わせに PCC が実行される。
- 南／南の18ホールゴルフコースに算出された PCC 調整値の50%を、プレーヤーのスコアディファレンシャル計算に適用する。
- 南／南の18ホールゴルフコースに PCC が実行されなかった場合は、プレーヤーのスコアディファレンシャル計算に PCC 調整値は適用されない。これは、南コースが含まれる他の18ホールの組み合わせで PCC が実行されたとしても同様である。

5.7 ローハンディキャップインデックス

ローハンディキャップインデックスは、スコア記録に登録されている最新のスコアがプレーされた日から起算して、過去365日間（1年）におけるプレーヤーの実証された技量を表し、最新のハンディキャップインデックスを比較する基準点となる。

- ローハンディキャップインデックスは、プレーヤーのスコア記録に最低20枚の採用可能なスコアが登録された時点で設定される。

- ローハンディキャップインデックスが設定されたプレーヤーは、新たな採用可能なスコアが提出される度にローハンディキャップインデックスが再設定され、その数値はプレーヤーのスコア記録に表示されなければならない。
- 新たに設定されたローハンディキャップインデックスは、プレーヤーが次に提出する採用可能なスコアの計算処理に使用される。プレーヤーのローハンディキャップインデックスは、2つのラウンドの間に365日より古くなる場合がある。
- 委員会による調整が適用され、プレーヤーのハンディキャップインデックスが低減した場合、それより少ないハンディキャップインデックスが有効でない限り、その調整したハンディキャップインデックスにローハンディキャップインデックスを更新する(規則 7.1a 参照)。
- 委員会による調整が適用され、プレーヤーのハンディキャップインデックスが増加した場合、委員会はその調整したハンディキャップインデックスと同じ値にローハンディキャップインデックスを更新することを検討するべきである。

規則5.7の詳説:

5.7/1 - プレーヤーのローハンディキャップインデックスが365日間(1年)より古くなる状況

規則 5.7 は、プレーヤーのローハンディキャップインデックスは2つのラウンドの間に365日より古くなる場合があると規定している。結果として、365日より古くなったローハンディキャップインデックスは、プレーヤーのハンディキャップインデックスの計算に依然として使用される場合がある。

例:

2025年3月1日にスコアを提出した後、プレーヤーのハンディキャップインデックスは12.3と算出された。その時点におけるローハンディキャップインデックスは、2024年5月1日に発行された10.6である。

そのプレーヤーが、次のスコアを2025年6月1日に提出した際、ハンディキャップインデックスの更新計算で、365日より古くなったローハンディキャップインデックス10.6を依然として使用する。何故なら過去365日の期間は、プレーヤーのスコア記録に登録されている最新のスコアがプレーされた2025年3月1日から起算して2024年3月1日までとなるからである。プレーヤーのハンディキャップインデックスが更新された後は、2025年6月1日以前の365日間における新しいローハンディキャップインデックスが設定される。

5.7/2 - ローハンディキャップインデックスが現在のハンディキャップインデックスとなる状況

2024年4月1日にスコアを提出した後、プレーヤーはしばらくゴルフのプレーから遠ざかっており、次のスコアを提出したのは2025年7月1日だった。この時のハンディキャップインデックス更新計算では、2024年4月1日から過去365日間のローハンディキャップインデックスを計算の基準点として使用する。

そのプレーヤーが、次のラウンドを2025年8月1日にプレーした。その際、ハンディキャップインデックス更新計算に使用するのは2025年7月1日から過去365日間のローハンディキャップインデックスであるが、この期間中に提出されたスコアは、2025年7月1日に提出された最新のスコアのみである。従って、こうした状況では、このプレーヤーの現在のハンディキャップインデックスがローハンディキャップインデックスである。

5.8 ハンディキャップインデックスの増加制限

増加制限(キャップ)の手順には、次の2つのトリガーポイント(発動点)がある:

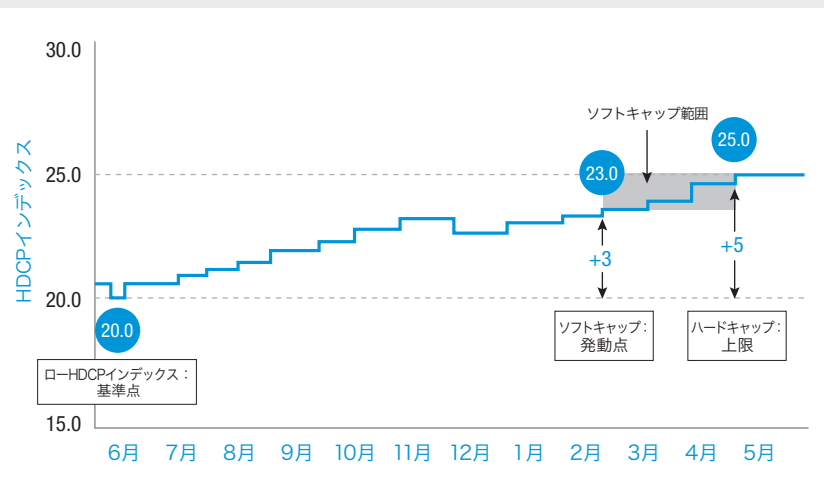
- ソフトキャップ:** ソフトキャップは、新たに算出されたプレーヤーのハンディキャップインデックスとローハンディキャップインデックスの差が、3.0ストロークを超えた時に発動する。
算出されたハンディキャップインデックスの増加幅が3.0ストロークを超える場合、超過分の増加を50%に抑制する。
- ハードキャップ:** ハードキャップは、ソフトキャップ適用後にプレーヤーのハンディキャップインデックスがローハンディキャップインデックスを超えて増加できる上限を5.0ストロークに制限する。

プレーヤーのハンディキャップインデックスの低減に制限はない。

ソフトキャップとハードキャップの手順は、プレーヤーのローハンディキャップインデックスが設定された時点で初めて有効となる。

(図 5.8 参照)

図5.8: ソフトキャップとハードキャップ



その結果、調整の効果は、次のスコアが提出された後も持続し、その後新しいスコアが登録されるに従って徐々に薄まっていく。

例外的なスコアが提出された時点でプレイヤーのスコア記録に登録されているスコアディファレンシャルが20枚未満の場合、低減調整は、その例外的なスコアを含むプレイヤーのスコア記録に登録されたすべてのスコアディファレンシャルに適用する。

- 以下の場合、ハンディキャップ委員会が検討できるように追加のハンディキャップ検証通知を行う：
 - プレーヤーのハンディキャップインデックスに複数の例外的なスコアによる低減が適用されている場合。
 - スコアディファレンシャルが、プレー当日において有効なプレーヤーのハンディキャップインデックスより10.0ストローク以上下回り、例外的なスコアによる低減「-2.0」が適用されている場合。
- ハンディキャップ委員会は、例外的なスコアによる低減調整を適用するとプレーヤーのハンディキャップインデックスが本人の実証された技量を公平に反映しなくなると判断した場合、例外的なスコアによる低減調整を無効とすることができる（規則 7.1a 参照）。

(図 5.9 参照)

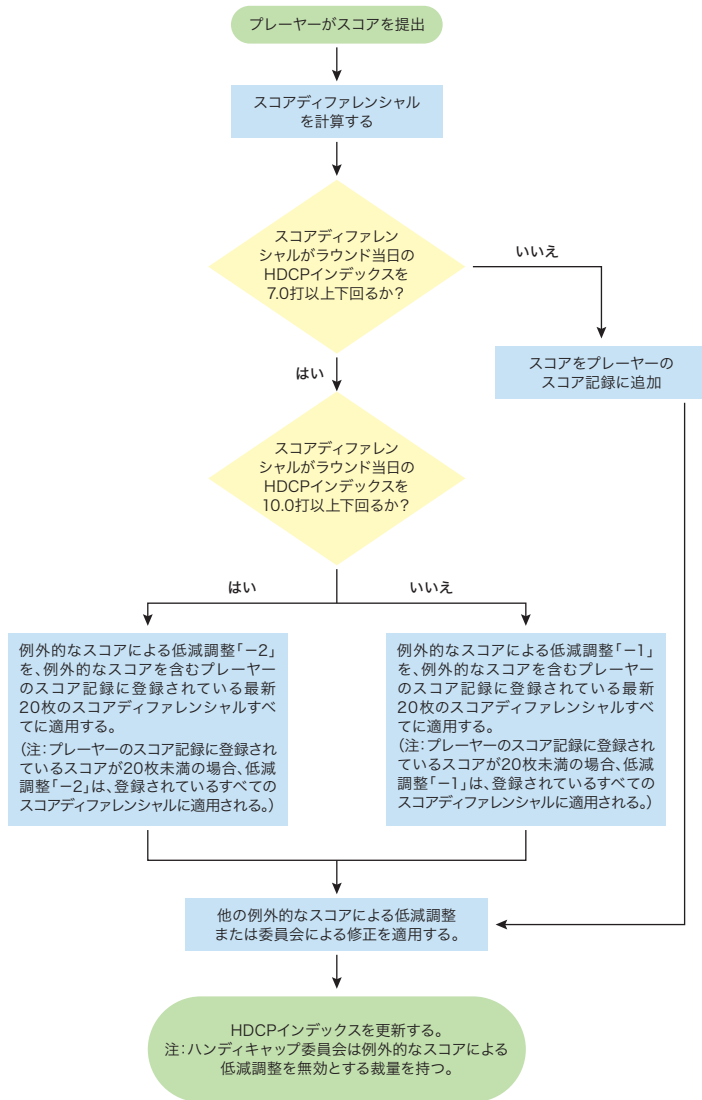
5.9 例外的なスコアの提出

例外的なスコアがプレイヤーのスコア記録に提出された場合、次の調整表に従ってハンディキャップインデックスを低減する：

スコアディファレンシャルがプレー当日において有効なプレーヤーのハンディキャップインデックスを下回るストローク数	例外的なスコアによる低減調整
7.0～9.9	-1.0
10.0以上	-2.0

- 低減調整はスコアディファレンシャル（端数処理なし）とそのプレーヤーのハンディキャップインデックスとの差に基づく。
- 複数の例外的なスコアによる低減調整は累積適用される。
- 例外的なスコアが提出された場合、低減調整はプレーヤーのハンディキャップインデックス更新計算の中で自動的に適用される。
- 例外的なスコアによる低減調整は、その例外的なスコアを含むプレーヤーのスコア記録に登録されている最新 20 枚のスコアディファレンシャルすべてに適用する。

図5.9：例外的なスコアによる調整の適用



規則 6

コースハンディキャップとプレーイングハンディキャップの計算

規則の理念：

コースハンディキャップの計算はハンディキャップインデックスをコースレーティングとスロープレーティングを持つゴルフコースをプレーする際にプレーヤーが必要とするハンディキャップストローク数に換算するものである。これによりプレーヤーのハンディキャップインデックスはどこでプレーしても持ち運び可能となる。プレーイングハンディキャップの計算は、様々なプレー形式において、すべてのハンディキャップレベルのプレーヤーの間で公平性を保つためのものである。プレーイングハンディキャップはプレーヤーのコースハンディキャップに適切なハンディキャップアローワンスを適用することによって算出する。ハンディキャップアローワンス 100% を採用するプレー形式では、プレーイングハンディキャップはコースハンディキャップと同じである。

コースハンディキャップ - ハンディキャップの査定において、コースハンディキャップは、あらゆるゴルフコースでプレーヤーが受ける(または与える)ハンディキャップストローク数を決定するため、ネットダブルボギーおよびネットパー調整を正しく適用するために使用される。

プレーイングハンディキャップ - プレーイングハンディキャップの計算は各プレーヤーが受けたり与えたりするハンディキャップストローク数を決定し、すべてのプレーヤーが公平且つ公正にゲームをプレーしたり、競い合えるようにする。

6.1 コースハンディキャップの計算

6.1a 18ホールラウンドの場合

18 ホールのコースハンディキャップは、次の計算式で算出する：

$$\text{コース HDCP} = \text{HDCP インデックス} \times \left(\frac{\text{スロープレーティング}}{\div 113} \right) + (\text{コースレーティング} - \text{パー})$$

注：

1. 同じ 9 ホールを同じティーから 2 回プレーすることで 18 ホールのラウンドをプレーしており、18 ホールのコースレーティングがない場合、18 ホールのコースハンディキャップは次の計算式で算出する：

$$\text{コース HDCP} = \text{HDCP インデックス} \times \left(\frac{\text{9 ホールの スロープレーティング}}{\div 113} \right) + \left(\frac{\text{2} \times \text{9 ホールの コースレーティング}}{- \text{2} \times \text{9 ホールの パー}} \right)$$

2. 計算の最後に、端数を四捨五入した整数で表示する。

6.1b 9ホールラウンドの場合

9 ホールのコースハンディキャップは、次の計算式で算出する：

$$\text{コース HDCP} = \left(\frac{\text{HDCP インデックス}}{\div 2 \text{ (小数第2位で四捨五入)}} \right) \times \left(\frac{\text{9 ホールの スロープレーティング}}{\div 113} \right) + \left(\frac{\text{9 ホールの コースレーティング}}{- \text{9 ホールの パー}} \right)$$

計算の最後に、端数を四捨五入した整数で表示する。

(9 ホールラウンドのハンディキャップナンバー割り当てに関しては付属規則 E 参照。)

規則6.1bの詳説：

6.1b/1 - 9ホールのコースハンディキャップは、9ホールのコースレーティングとスロープレーティングを使用して算出する

承認された協会がゴルフ倶楽部にコースレーティングとスロープレーティングを発行する際、以下の例のように、18 ホールのレーティングとともにフロントナインとバックナインのコースレーティングとスロープレーティングも表示するべきである。

	男子・白ティー		女子・白ティー	
	コースレーティング	スロープレーティング	コースレーティング	スロープレーティング
18ホール	73.1	132	75.5	138
1～9番	36.1	132	37.3	135
10～18番	37.0	131	38.2	141

9 ホールのコースハンディキャップの計算は、プレーする 9 ホールゴルフコースの正しいコースレーティングとスロープレーティングを使用しなければならない。

注：算出された 18 ホールおよび 9 ホールのコースハンディキャップは、以下を実施するために端数を四捨五入した整数で使用する：

- ホールスコアの上限 (規則 3.1)、およびプレーしなかったホール (規則 3.2) の調整適用
- スコアディファレンシャルの計算 (必要に応じて)

上記の計算以外は、コースハンディキャップの算出値はすべて保たれ (端数処理せず)、四捨五入はプレーイングハンディキャップ換算後の 1 回のみとする。

6.2 プレーイングハンディキャップの計算

6.2a 通常の計算

プレーイングハンディキャップは、次の計算式で算出する：

$$\text{プレーイング HDCP} = \left(\frac{\text{コース HDCP}}{\text{(端数処理しない)}} \right) \times \text{ハンディキャップアローワンス}$$

算出されたプレーイングハンディキャップは、端数を四捨五入した整数で表示する。

推奨ハンディキャップアローワンスについては、付属規則 C を参照。

規則6.2aの詳説：

6.2a/1 - コースハンディキャップの計算後のすべての値を使用する

ハンディキャップアローワンスは、様々なプレー形式において、すべてのハンディキャップレベルのプレーヤーの間で公平性を提供することを目的としており (付属規則 C 参照)、プレーイングハンディキャップ計算の最後にプレーヤーのコースハンディキャップに適用されます。四捨五入を複数回行うことによる不当な影響を避けるために、ハンディキャップアローワンスは端数処理をしていないコースハンディキャップに適用されるべきです。

およそ 25% の場合に、複数回の四捨五入は著しく異なるプレーヤーの直感に反したプレーイングハンディキャップを生じさせることがあります。例えばハンディキャップインデックスが最大 2 打異なる 2 人のプレーヤーが両者共に計算後の同じプレーイングハンディキャップを受けることがあり得ます (下記参照)。

コースレーティング = 71.0

スロープレーティング = 125

パー = 71

プレー形式 = フォアボール・ストロークプレー (ハンディキャップアローワンス85%)

プレーイングハンディキャップ計算 (端数処理したコースハンディキャップを使用)		
	プレーヤー A	プレーヤー B
ハンディキャップインデックス	8.6	10.3
コースハンディキャップ (端数処理あり)	10	11
プレーイングハンディキャップ (85%)	9	9

このことは、ハンディキャップアローワンスを端数処理していないコースハンディキャップに適用した場合には生じません (下記参照)。

プレーイングハンディキャップ計算 (端数処理しないコースハンディキャップを使用)		
	プレーヤー A	プレーヤー B
ハンディキャップインデックス	8.6	10.3
コースハンディキャップ (端数処理あり)	9.5132...	11.3938...
プレーイングハンディキャップ (85%)	8	10

残りの 75% の場合には、計算結果に差はないでしょう。

限定された状況において、例えば、プレーイングハンディキャップを計算することを求められたプレーヤーが端数処理していないコースハンディキャップを簡単に入手できない場合、実際上はハンディキャップアローワンスを端数処理したコースハンディキャップに適用できるでしょう。

注: ハンディキャップアローワンスを適用しなかったり、100% 適用する場合、プレーイングハンディキャップは、複数のティーのための調整が必要となる場合を除き、端数処理したコースハンディキャップと同じとなります。

6.2b パーが異なる複数のティーを使用する競技の場合の計算

本規則では:

- ストロークプレーは、ネットスコア、グロススコア、または最大スコアのいずれかのプレー形式をいう。
- ステープルフォードとパー/ボギー形式は、別に扱う。

2つ以上のティーを使用して競技をプレーする場合 (性別や技量の異なるプレーヤーの混合競技の場合など)、公平に順位、結果、入賞を決定するために、プレー形式やティー毎のパーの違いに応じて、通常のプレーイングハンディキャップ計算に追加のハンディキャップストロークが必要となる場合がある。

- (i) ストロークプレー形式とマッチプレー形式 (グロスまたはネットスコアで結果が記録される場合): パーの多いティーを使用するプレーヤーは、そのラウンドで、最もパーの少ないティーとの自分がプレーするティーのパーの差と等しいハンディキャップストロークを追加で受けなければならない。

この追加のハンディキャップストロークは、プレーヤーのプレーイングハンディキャップに以下の通り追加される:

$$\text{プレーイング HDCP} = (\text{コースHDCP} \times \text{ハンディキャップアローワンス}) + \text{パーの差}$$

注:

1. 別の方法として、参加者の大部分がパーの多いティーからプレーする場合は、パーの少ないティーを使用するプレーヤーがそのラウンドで受けるハンディキャップストロークから、パーの差と等しいストロークを差し引くことができる。
 2. 誤解を避けるために、パーの差がない場合、追加のハンディキャップストロークは必要ない。
- (ii) ストロークプレー形式とマッチプレー形式 (対パー数値で結果が記録される場合): パーに対するそのラウンドのプレーヤーのネットステータス (またはグロスステータス) は直接相互に比較されるため、ティー毎のパーが異なる場合でも、通常のプレーイングハンディキャップ計算に追加するハンディキャップストロークはない。このことは、2人のプレーヤーが異なるパーを持つ異なるティーから競い合っている場合、両者がそのホールでパーだったとしても、そのホールは引き分けあるいはスコアはイーブンのままとすることを意味する。これは、そのホールのスコアはグロスやネットの数値ではなく、パーに対して記録されるからである。
- (iii) ステープルフォード形式: そのラウンドの各プレーヤーの合計ステープルフォードポイントは直接相互に比較されるため、ティー毎のパーが異なる場合でも、通常のプレーイングハンディキャップ計算に追加するハンディキャップストロークはない。
- (iv) パー/ボギー形式: そのラウンドのプレーヤーのパー/ボギー結果は、他のプレーヤーそれぞれと直接比較されるため、ティー毎のパーが異なる場合でも、通常のプレーイングハンディキャップ計算に追加するハンディキャップストロークはない。



IV

ハンディキャップインデックスの
管理
規則 7

規則 7

委員会の行動

規則の理念：

ハンディキャップ委員会は、プレーヤーのハンディキャップを適切に管理する上で極めて重要な役割を担っており、算出されたハンディキャップインデックスがプレーヤーの実証された技量を反映しなくなった場合には介入措置をとることができる。

これらの措置は、適切に実施することにより、どこのゴルフ倶楽部でもプレーヤーが公平且つ一貫性を持って扱われるように設計されている。

また競技を管理する委員会は、参加するすべてのプレーヤーに対して競技の条件を制定することについて重要な役割を担う。

7.1 ハンディキャップ委員会

7.1a ハンディキャップ検証の実施とハンディキャップインデックスの調整

- (i) ハンディキャップ検証の実施：ハンディキャップ委員会は、付属規則 D に定められた方法を用いてプレーヤーのハンディキャップインデックスを検証するべきである。
- ハンディキャップ委員会は、いつでもハンディキャップ検証を実施する裁量権を持つ。ハンディキャップ委員会は、そのゴルフ倶楽部をホーム倶楽部と指定したすべてのメンバーについて、少なくとも 1 年に 1 回は検証を実施することを強く推奨する。
 - ハンディキャップ検証は、プレーヤーまたは他のプレーヤーからの要請があった場合にもいつでも実施することができる。
 - プレーヤーのハンディキャップインデックスを調整する前に、ハンディキャップ委員会は、以下を含む、入手可能なすべての証拠を注意深く検討するべきである：
 - そのプレーヤーの潜在的なスコアリング能力が、一時的または慢性的な怪我や病気、あるいは身体障害による影響を受けており、そのことによって、そのプレーヤーが他のプレーヤーと公平且つ公正にプレーするための技量に著しい影響を及ぼしていないかどうか
 - そのプレーヤーが以前に保持していたハンディキャップ

- そのプレーヤーは、急速に上達中、あるいは技量が低下しているプレーヤーか
- あるプレー形式と別のプレー形式でプレーヤーのパフォーマンスが著しく異なっていないか。例えば、競技ラウンドと一般のプレー、承認されたプレー形式と承認されていないプレー形式など
- プレーヤーの行動が、不当な利益を得るためのものであると判断されたことがあるか

- (ii) ハンディキャップインデックスの調整：ハンディキャップ委員会は、入手可能なすべての証拠を検討し、プレーヤーのハンディキャップインデックスを調整する最適な行動方針を決定しなければならない。その方法は、次のいずれかを選択できる：

- そのプレーヤーの実証された技量をより正確に反映すると判断された任意のハンディキャップインデックスに調整するために、スコア記録内の最新 20 枚のスコアディファレンシャル 1 枚ずつに調整を適用することによってハンディキャップインデックスをリセットする。
 - この方法は、新しいスコアが提出されると、随時ハンディキャップインデックスが更新される。
 - プレーヤーのスコア記録に登録されているスコアが 20 枚未満の場合、この調整は登録されているすべてのスコアディファレンシャルに適用される。
 - この調整が必要なくなったと判断された場合、ハンディキャップ委員会は、いつでもこの調整を解除することができる。

または、

- ハンディキャップインデックスを、ハンディキャップ委員会が選択した数値で一定期間凍結する。
 - この期間中は、新しいスコアが提出されてもプレーヤーのハンディキャップインデックスは更新されない。但し、ハンディキャップ委員会が、数値の増加のみに対して凍結を適用した場合を除く。
 - ハンディキャップ委員会は、ハンディキャップインデックスの凍結をいつでも解除ことができ、その場合、プレーヤーのスコア記録に登録されているスコアを使用してハンディキャップインデックスが計算される。

ハンディキャップ検証の結果、プレーヤーのハンディキャップインデックスを調整する場合は、以下のように適用しなければならない：

- プレーヤー本人がその旨の通知を受け、ハンディキャップ委員会、または承認された協会（該当する場合）に対して反論する機会を得た後に適用する。そのプレーヤーは（要請があった場合）上訴手続きに従わなければならない。

- 上方または下方修正は、最少 1.0 ストロークで行う。
- 上方修正は、プレイヤーのローハンディキャップインデックスに対してプラス 5.0 ストロークを上限とする。但し、長期間にわたる病気や怪我などの理由により、プレイヤーがそれ以前に達成したレベルでプレーすることができなくなった場合など、例外的な状況がある場合を除く。

規則7.1aの詳説：

7.1a/1 - プレーヤーの最新20枚のスコアディファレンシャルを調整することによるハンディキャップインデックスのリセット方法

プレイヤーのスコア記録に登録されている最新 20 枚のスコアディファレンシャル 1 枚ずつに調整を適用することによって、次のスコアが提出された後も調整の効果は継続し、その後さらに新しいスコアが提出されるに従って調整の効果は徐々に薄くなる。

例えば、プレイヤーの急速な上達が最近のスコアによって示されているために、ハンディキャップ委員会は、そのプレイヤーのハンディキャップインデックスを 10.3 から 9.3 に調整することを決定した。

この場合、ハンディキャップ委員会は、最新 20 枚のスコアディファレンシャル 1 枚ずつに -1.0 ストロークの調整を適用する。この調整が最終計算結果に反映するかは次の表に示した通り：

スコア	コースレーティング	スロープレーティング	スコアディファレンシャル
83	70.0	131	11.2
86	71.8	127	12.6
82	69.0	125	11.8
79	69.8	128	8.1
87	70.1	134	14.3
90	70.0	128	17.7
89	71.8	131	14.8
88	71.5	129	14.5
81	69.4	127	10.3
92	71.7	130	17.6
86	71.8	127	12.6
87	70.1	134	14.3
79	69.8	128	8.1
83	70.7	125	11.1
88	71.5	129	14.5
92	71.7	130	17.6
80	69.1	120	10.3
86	71.8	127	12.6
82	69.4	127	11.2
90	70.0	128	17.7

ベスト8枚

プレイヤーのスコア記録内のスコアディファレンシャル最新20枚中ベスト8枚の平均によって算出されるハンディキャップインデックスは、以下の通り：

$$(11.2 + 11.8 + 8.1 + 10.3 + 8.1 + 11.1 + 10.3 + 11.2) \div 8 = \text{ハンディキャップインデックス } 10.3$$

スコア	コースレーティング	スロープレーティング	スコアディファレンシャル	HDCP検証による調整	調整後のスコアディファレンシャル
83	70.0	131	11.2	-1.0	10.2
86	71.8	127	12.6	-1.0	11.6
82	69.0	125	11.8	-1.0	10.8
79	69.8	128	8.1	-1.0	7.1
87	70.1	134	14.3	-1.0	13.3
90	70.0	128	17.7	-1.0	16.7
89	71.8	131	14.8	-1.0	13.8
88	71.5	129	14.5	-1.0	13.5
81	69.4	127	10.3	-1.0	9.3
92	71.7	130	17.6	-1.0	16.6
86	71.8	127	12.6	-1.0	11.6
87	70.1	134	14.3	-1.0	13.3
79	69.8	128	8.1	-1.0	7.1
83	70.7	125	11.1	-1.0	10.1
88	71.5	129	14.5	-1.0	13.5
92	71.7	130	17.6	-1.0	16.6
80	69.1	120	10.3	-1.0	9.3
86	71.8	127	12.6	-1.0	11.6
82	69.4	127	11.2	-1.0	10.2
90	70.0	128	17.7	-1.0	16.7

ベスト8枚

委員会による調整「-1.0」が適用されたプレイヤーのスコア記録内のスコアディファレンシャル最新20枚中ベスト8枚の平均によって算出されるハンディキャップインデックスは、以下の通り：

$$(10.2 + 10.8 + 7.1 + 9.3 + 7.1 + 10.1 + 9.3 + 10.2) \div 8 = \text{ハンディキャップインデックス } 9.3$$

7.1a/2 - ハンディキャップ委員会の基準－病気や怪我の影響を受けたプレーヤーに調整を適用する

長期間にわたる病気や怪我、あるいは一時的な障害によってプレーヤーの技量が影響された場合、ハンディキャップ委員会はそのプレーヤーのハンディキャップインデックスの調整を検討できる。そうした調整は、病気や怪我、あるいは一時的な障害が生じた後に1枚以上の採用可能なスコアが提出された場合にだけ行える。

調整の度合いを決定する際、ハンディキャップ委員会は提出されたスコアを以前のハンディキャップインデックスと比較すると共に、そのプレーヤーのコンディションの背景と深刻さを考慮に入れるべきである。

何枚ものスコアを提出した後、そのプレーヤーの状態のために技量が恒久的に変化したことが明らかになった場合は、そのプレーヤーのスコア記録を破棄し、病気や怪我、あるいは一時的な障害が発生した後に提出されたスコアだけを使用して新規にハンディキャップインデックスを発行することが適切な場合もある（規則 5.2a 参照）。

7.1b 不足しているスコアやペナルティースコアの提出

(i) スコアを提出しなかった理由

プレーヤーが承認されたプレー形式のスコアを提出しなかった場合、ハンディキャップ委員会はその理由が正当なものであったかどうかを決定し、適切な措置をとる権限を持つ。

ハンディキャップ委員会がスコアを提出しなかった理由を正当と考えることができる例は、そうした事態が起きた後の残りのホールでのプレーにおいてプレーヤーの能力に不利に影響する突然の怪我や病気、緊急事態などの不測の事態を含む（がそれらに限定されない）。

ハンディキャップ委員会がスコアを提出しなかった理由を正当と考えるべきではない例は、下記を含む（がそれらに限定されない）：

- 単にスコア提出を失念した
- 適時のスコア提出を妨げる状況があった（クラブハウスへのアクセスや電源が一時的に遮断されていた）
- 正当な理由で1ホールまたは複数のホールをプレーしなかった（規則 3.2 参照）
- 良いスコアによってハンディキャップインデックスが低減することを妨げる
- 悪いスコアによってハンディキャップインデックスが増加することを妨げる

プレーヤーがスコアを提出しなかった理由をハンディキャップ委員会が正当と考える場合、そのスコアはハンディキャップ査定のために提出すべきではない。

(ii) 提出されるスコア

ハンディキャップ委員会がスコアを提出しなかった理由を正当ではなかったと決定する場合、下記に従って行動しなければならない：

- プレーヤーの実際のスコアが判明している場合
 - スコアを提出する。ただし、そのスコアがハンディキャップ規則の中のすべての規定の要件を満たしていることを条件とする。
 - そのラウンドを終了しなかったことについて正当な理由があり、そのスコアがハンディキャップ規則の中のその他のすべての規定の要件を満たしている場合、スコアを提出する。そのプレーヤーの予想されるスコアがプレーしなかった1ホールまたは複数のホールに使用される（規則 3.2 参照）。
 - プレーヤーが不当な利益を得る目的でスコアを提出しなかったとハンディキャップ委員会が結論付ける場合（規則 1.3(i) 参照）、その状況に適切な追加のペナルティースコアを適用することを検討すべきである。
- プレーヤーの実際のスコアがすぐに判明しない場合
 - ペナルティースコアを適用すべきである。
 - 後になってそのプレーヤーの実際のスコアが判明した場合、実際のスコアをプレーヤーのスコア記録に提出すべきである。ハンディキャップ委員会は、状況に応じてそのペナルティースコアをプレーヤーのスコア記録に残しておくか、削除するかを裁量権を持つ。

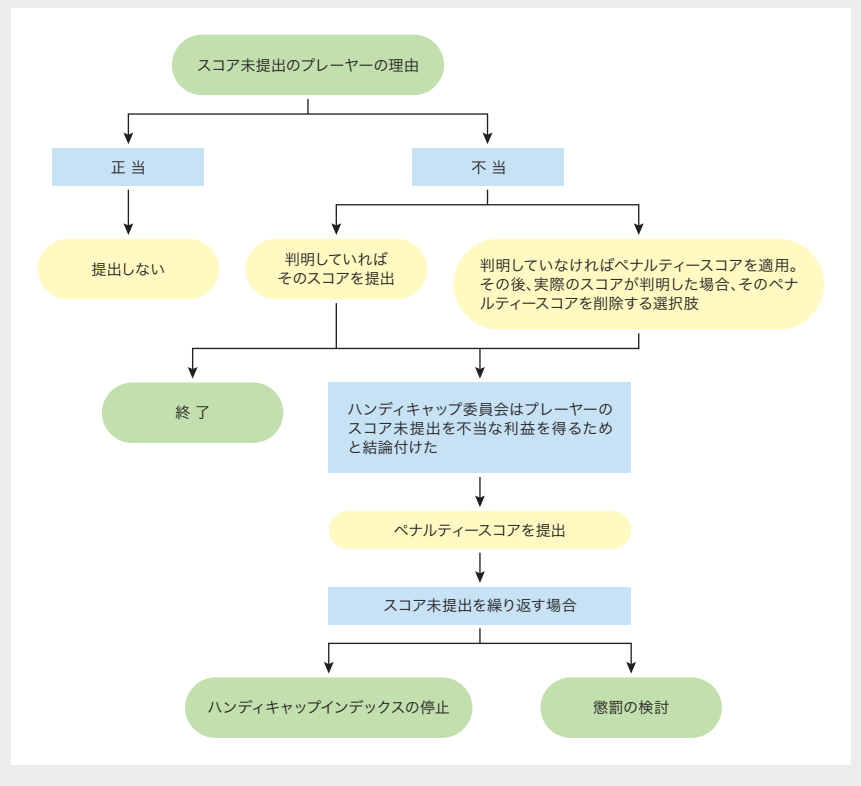
プレーヤーのスコア記録に適用されるペナルティースコアの数値はその状況および／またはプレーヤーの意図に適切なものであるべきである。例えば：

- プレーヤーがハンディキャップインデックスを低減させるために行動したと判断された場合、ペナルティースコアは直近 19 枚の中の最も高いスコアディファレンシャルと同等であるべきである。
- プレーヤーがハンディキャップインデックスを増加させるために行動したと判断された場合、ペナルティースコアは直近 19 枚の中の最も低いスコアディファレンシャルと同等であるべきである。
- プレーヤーがその他の理由でスコアを提出しなかったと判断され、そのスコアが判明していない場合、ペナルティースコアはそのプレーヤーのコースハンディキャップにプレーしたティーのコースレーティング（端数処理した整数）を足した数値と同等であるべきである

採用できるスコアの未提出を繰り返すプレーヤーについて、ハンディキャップ委員会や承認された協会は、そのプレーヤーのハンディキャップインデックスを停止する、あるいは懲罰処分（例えば、そのプレーヤーの倶楽部競技への参加を一定期間認めない）を行うことのどちらかを検討すべきである。

(図 7.1b 参照)

図7.1b: スコア未提出の場合にハンディキャップ委員会が実施できる行動



7.1c ハンディキャップインデックスの停止

ハンディキャップ委員会、または承認された協会は、プレーヤーがハンディキャップ規則が定めるプレーヤーの責任(付属規則 A 参照)を故意に、または繰り返し遵守しなかった場合、そのプレーヤーのハンディキャップインデックスを停止するべきである。

プレーヤーのハンディキャップインデックスを停止する場合は、必ず事前にその旨をその

プレーヤーに通知し、ハンディキャップ委員会、承認された協会、またはその他の懲罰機関にて反論する機会を与えてから停止するべきである。

プレーヤーは、ハンディキャップインデックスの停止期間、およびその他追加の条件について、必ず通知を受けなければならない。

7.1d ハンディキャップインデックスの復帰

プレーヤーのハンディキャップインデックスが一定期間停止され、その後復活できる状態になった場合、そのハンディキャップインデックスの復帰が必要となる。

そのプレーヤーのハンディキャップインデックスをどのレベルで復帰させるかを決定するために、ハンディキャップ委員会は次のいずれかを検討することができる:

- プレーヤーの実証された技量を反映するとハンディキャップ委員会考えるレベルでハンディキャップインデックスを復帰させる。
- そのプレーヤーを新規ゴルファーとみなして、新たにハンディキャップインデックスを発行する。
- 前回登録されたハンディキャップインデックスで復活させる。

ハンディキャップインデックスが復帰した場合、ハンディキャップ委員会がその後のラウンドを通してそのプレーヤーのハンディキャップインデックスを注意深く監視し、必要に応じて適切な調整を適用することを強く推奨する。

7.2 競技を管理する委員会

7.2a 競技の条件

競技を管理する委員会は、競技の条件でプレーヤーのハンディキャップインデックスや算出したプレーイングハンディキャップに関するエントリー/出場資格要件を設けることができる。例えば、委員会は以下のことができる:

- エントリー資格としての、または競技で使用するハンディキャップインデックスの上限の設定
- プレーイングハンディキャップの上限の設定
- プレーヤーのハンディキャップインデックスが実証された技量を反映していないという証拠がある場合、参加者のプレーイングハンディキャップを調整する権限を有する。

エリートレベル競技を管理する委員会は、より詳細なエントリーや出場資格要件を設けることも検討することができる。例えば:

- 委員会がプレーヤーのハンディキャップインデックスがそのプレーヤーの実証された

技量を反映しているかどうかを決定できるように、スコア記録から直近 20 枚のスコアのコピーを提出することをプレイヤーに要請すること。それは以下におけるプレイヤーのパフォーマンスを評価することを含むこともある。

- 一般のプレーのラウンド
- 競技ラウンド
- 9 ホールのラウンド
- 競技ラウンドと比較した一般のプレーのラウンド
- 18 ホールのラウンドと比較した 9 ホールのラウンド
- 定期的に提出された採用可能なスコアの数
- 承認されていないプレー形式でのパフォーマンスを考慮する権利
- ランキングの利用、あるいは同等レベルの他の競技でのパフォーマンスに基づく何かしらの能力表示

委員会が上限を設定した競技の後に、プレイヤーのハンディキャップインデックスを更新する際は、制限が適用されていないプレイヤーのフルコースハンディキャップを使用して調整グロススコアを計算するべきである。

競技の運営管理をスムーズに行うために、同一日または連続する複数日における複数ラウンドの競技を管理する委員会は、競技の条件において、競技開催期間中はプレイヤーのハンディキャップインデックスを変更するか否かを決定しなければならない。そのような競技においては、ハンディキャップインデックスを変更しないことを強く推奨する。

7.2b その他の行動

競技を管理する委員会は、以下を行う権限を持つ：

- コースコンディションが異常に悪い時に、ハンディキャップ査定のためのスコア提出の一時中断を決定する。このような一時中断を実施する前に、委員会は承認された協会の許可を得るべきである。



付属規則 付属規則 A~G



付属規則A: 権利と責任

ワールドハンディキャップシステムは、すべての主要ステークホルダーがハンディキャップ規則で定められた要件を満たすよう努め且つそれぞれの責任を果たすことによって、その完全性が保たれる。

ハンディキャップ規則における主要ステークホルダーは、以下の通り：

- プレーヤー
 - ゴルフ倶楽部とそのハンディキャップ委員会
 - 地区ゴルフ協会*
 - ナショナル協会*
 - マルチナショナル協会*
 - USGA および R&A
- } * 総称して承認された協会

各主要ステークホルダーの責任は以下である：

1. **プレーヤーの責任**：ハンディキャップ規則の要件を遵守するために、プレーヤーは以下を行うことが期待される：
 - (i) ハンディキャップ規則を遵守することによって誠実に行動し、不当な利益を得ることを目的としてハンディキャップ規則を使用または回避しない。
 - (ii) 単一のスコア記録による1つのハンディキャップインデックスのみを保有し、それは自身のホーム倶楽部がハンディキャップ規則に従って管理しているものとする。
注：プレーヤーがメンバーとして所属するすべてのゴルフ倶楽部を含む、いかなるコースでプレーする際にも、このハンディキャップインデックスを使用する
 - (iii) 自身がメンバーとして所属する各ゴルフ倶楽部が、以下に関する詳細を把握するようにする：
 - プレーヤーがメンバーである他のすべてのゴルフ倶楽部
 - プレーヤーが自身のホーム倶楽部に指定したゴルフ倶楽部
 - (iv) 承認されたプレー形式のラウンドを開始する前に：
 - 自身の最新のハンディキャップインデックスを知っておく。
 - まだスコア記録に登録されていない未提出のスコアを含み、自身のハンディキャップインデックスに相違がある場合は、そのことをハンディキャッ

ブ委員会または競技を管理する委員会に報告する。

- どのホールでハンディキャップストロークを受けたり与えたりするかを知っておく。
- (v) 各ホールで最善のスコアを目指してプレーする。
 - (vi) 自身のハンディキャップ管轄地域以外でプレーしたスコアを含み、該当する場合、実証された技量を合理的に証明するために、すべての採用可能なスコアがハンディキャップ査定のために提出されているようにする。採用可能なスコアは、次の通り提出すべきである：
 - ラウンド終了後できるだけ速やかに、プレー当日の深夜0時（現地時間）までに提出する
 - 正しい時系列順に提出する
 - (vii) 新規入会したゴルフ倶楽部に、それまでの自身のプレー履歴、所持していたハンディキャップインデックス、所属倶楽部についての詳細履歴、および自身のゴルフ技量に関わるその他の情報を提供する。
 - (viii) ゴルフ規則に従ってプレーする。
 - (ix) 他のプレーヤーのスコアを証明する。

2. ゴルフ倶楽部/ハンディキャップ委員会、地区協会、ナショナル協会、マルチナショナル協会の責任：ハンディキャップ規則の要件を遵守するために、ハンディキャップ委員会と承認された協会は、以下を行うものとする：

		承認された協会：			
		ゴルフ倶楽部/ HDCP 委員会	地区協会	ナショナル協会	マルチ ナショナル協会
(i)	ハンディキャップ委員会を設置し、ワールドハンディキャップシステムが適切に管理され、その完全性が守られるようにするための体制をサポートする。	✓	✓	✓	✓
(ii)	代理のステークホルダーがその責任を果たすようにする。	✓	✓	✓	✓
(iii)	代理のステークホルダーがその責任を果たしていない場合の対処手順を定める。	✓	✓	✓	✓
(iv)	代理のステークホルダーに対して、ワールドハンディキャップシステムおよびそのステークホルダーの責任に関する教育を提供する。	✓	✓	✓	✓
(v)	プレーヤーのハンディキャップインデックス停止に関する手順を定める。	✓	✓	✓	✓
(vi)	プレーヤーのハンディキャップインデックスを正確に計算できるようにするために、できれば最低過去2年間におよぶ十分な履歴情報を含んだ、包括的で最新のプレーヤーのスコア記録を管理する。	✓	✓	✓	✓
(vii)	承認されたプレー形式でプレーする時のハンディキャップ査定のための手順を伝達する。	✓	✓	✓	✓
(viii)	第三者のシステム業者などとの契約を含み、ワールドハンディキャップシステムの計算式または手順の使用を承認する。		✓	✓	✓
(ix)	プレーヤーのハンディキャップインデックスが常に本人の実証された技量を表すようにするため、少なくとも1年に1回、ハンディキャップインデックスを検証する。	✓	✓	✓	
(x)	以下の場合に、プレーヤーのハンディキャップインデックスを調整または停止する： <ul style="list-style-type: none"> プレーヤーのハンディキャップインデックスが、本人の実証された技量を反映しなくなった場合 プレーヤーが、ハンディキャップ規則が定める本人の責任遂行を怠った場合 プレーヤーの行為が、不当利益を得るためのものであると判断された場合 プレーヤーのハンディキャップインデックスを調整または停止する場合は、その事実と適用期間をプレーヤーに通知しなければならない。	✓	✓	✓	

		承認された協会：			
		ゴルフ倶楽部/ HDCP 委員会	地区協会	ナショナル協会	マルチ ナショナル協会
(xi)	ハンディキャップ規則に関する疑義や紛争が生じた場合は、これを解決し、上訴手続きを定める。	✓	✓	✓	
(xii)	スコアおよびハンディキャップに関するすべての関連情報を、必要に応じて他のステークホルダーに提供する。	✓	✓	✓	
(xiii)	ハンディキャップ規則に基づいて、推奨された（または定められた）バー設定の手順を適用、および/または伝達する。これにより、ハンディキャップ査定のためのホールスコア上限のネットダブルボギー調整を均一に適用できるようになる。	✓	✓	✓	✓
(xiv)	プレーヤーのスコア記録を更新する際に不備が生じた場合、ナショナル協会および/またはシステム業者にその旨を通知する。	✓	✓		
(xv)	必要に応じてプレーヤーのスコア記録にペナルティスコアを適用し、その調整をプレーヤーに通知する。	✓			
(xvi)	承認された協会によって義務づけられる場合、エリートレベルのプレーヤーのハンディキャップインデックスを発行、再発行、または調整する際に、承認を求める。	✓			
(xvii)	ローハンディキャップインデックスを発行または調整する場合に、承認された協会の承認が必要か否か、および承認が必要となる基準を伝達する。			✓	✓
(xviii)	推奨ハンディキャップアローワンスを制定する。	✓	✓	✓	✓
(xix)	ハンディキャップナンバー割当方法を決定する。	✓	✓	✓	
(xx)	各日発行するプレーイングコンディション計算 (PCC) を集計・公表する。このことにより、管轄地域以外のプレーヤーがハンディキャップ計算に PCC を使用できるようになる。			✓	✓

注：

1. ナショナル協会がプレーヤーのハンディキャップを直接管理している場合は、ナショナル協会はゴルフ倶楽部の責任も担うものとする。
2. 責任の委任は、マルチナショナル協会またはナショナル協会のいずれかによって決定する（該当する場合）。

ゴルフコースに関するワールドハンディキャップシステムの責任

承認された協会は以下を行うものとする：	ゴルフ倶楽部/ハンディキャップ委員会は以下を行うものとする：
<p>1. 承認された協会が認可するすべてのコースには、コースレーティングシステムに従って決定されたコースレーティングとスロープレーティングが該当するすべてのティーに査定されているようにする。</p> <p>これらのレーティングは、所属するゴルフ倶楽部やそのオーナーが実施したすべての恒久的および臨時のコース改造を反映しなければならない。</p> <p>2. コースレーティング計算ソフトを使用して、すべてのコースレーティングとスロープレーティングを査定・発行する。</p> <p>3. 管轄地域内で査定したすべてのコースレーティングの記録を保存・管理する。</p> <p>4. コースレーティング検証委員会を設置する。</p> <p>5. すべての必要なコースレーティングの査定および再査定を実施するために、十分な人数の熟練した査定委員（チームリーダー含む）を確保する</p> <p>6. プリファードライを採用した場合の採用可能なスコアが提出できる期間を決定する。</p> <p>7. 管轄地域内の非アクティブシーズン期間（開始日と終了日）を決定する。</p>	<p>1. コースレーティングが査定され、承認されたプレー形式でプレーが行われる各ティーは、正確なコース距離が測定されているようにする。</p> <p>2. 査定されたコースレーティングとスロープレーティングに影響を与える可能性のある著しいコース改造を実施した場合（特にコース距離やコースマーキングの変更など）、必ず承認された協会に報告する。</p> <p>3. すべての採用可能なスコアは、コースレーティングシステムで定められたコースレーティングとスロープレーティングを持つティーからプレーしたものであるようにする。</p> <p>4. コースレーティングの査定が実施された時と同様のコンディションにゴルフコースを維持する。</p> <p>5. プレーヤーの参考となるように、各ティーのコースハンディキャップとプレーイングハンディキャップの換算表を掲示する。</p> <p>6. コースコンディションが異常に悪い場合は、すべての採用可能なスコアの提出を一時中断するようにする。</p> <p>その際、ゴルフ倶楽部は必ず承認された協会の事前承認を受けなければならない。</p> <p>7. ゴルフコースがゴルフ規則に従ってマーキングされているようにする。</p>

付属規則B: プレーヤーのスコア記録

スコア記録の以下の3つのサンプル例は、通常版、簡易版、そして詳細版のプレーヤーのスコア記録に含まれるべき情報を示したものである:

- (i) 通常版: スコアの証明のためにスコア相互検証が義務づけられている国において、ゴルフ倶楽部内のハンディキャップ委員会およびすべてのプレーヤーが閲覧できる。この記録には、最新 20 枚のスコア、および最新 20 枚から除外された直近 5 枚のスコアを表示する。

プレーヤー名: プレーヤーID番号: ホーム倶楽部:	ローHDCP インデックス: xx.x	最新HDCPインデックス: 査定日: 日/月/年
----------------------------------	------------------------	-----------------------------

	プレー日 (日/月/年)	コース名	コース レーティング	スロープ レーティング	調整 グロススコア	スコア ティファレンシャル	調整値
01							
02							
03							
04							
05							
06							
07							
08							
09							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							

- (ii) 簡易版: スコアの証明のためにスコア相互検証が義務づけられている国において、ハンディキャップ委員会およびプレーヤーが閲覧できる。この記録は「通常版」と同様だが、公開範囲がより広いため、個人情報保護の目的でプレー日の日付とプレーしたゴルフコースの名称を除外する。

プレーヤー名: プレーヤーID番号: ホーム倶楽部:	ローHDCP インデックス: xx.x	最新HDCPインデックス: 査定日: 日/月/年
----------------------------------	------------------------	-----------------------------

	プレー日 (月/年)	コース レーティング	スロープ レーティング	調整グロス スコア	スコア ティファレンシャル	調整値
01						
02						
03						
04						
05						
06						
07						
08						
09						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						

(iii) 詳細版：そのスコア記録が所属するプレイヤー本人、そのハンディキャップ委員会、および紛争解決に関わる者が参照し、またワールドハンディキャップシステムのすべての要素をサポートするために使用することができる。このスコア記録には、最新 20 枚のスコア、および最新 20 枚から除外された直近 5 枚のスコアに関する詳細を表示し、またプレイヤーのスコア記録の完全履歴へのリンクオプションも提供する。

凡例:

- プレイヤー/オフィシャルが入力しなければならない必須項目
- ハンディキャップ計算システム/ソフトウェアが自動入力する項目
- ナショナル協会がプレイヤー/オフィシャルに入力を義務づけることができるオプション項目

プレイヤー名/ID番号:						ホーム倶楽部:自動			
必須入力	自動	検索機能	オプション	自動	必須入力	オプション	自動	自動	必須
プレー日 (月/年)* または (日/月/年)*	提出日	コース名	競技名	国/ 都道府県	使用ティ ー/ パー	スタート 時間 (おおよそ)	CR	SR	ホール数 9/18
01									
02									
03									
04									
05									
06									
07									
08									
09									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									

- * 日付フィールドは承認された協会が管轄地域の個人情報保護法令に基づいていずれかの表示方法を選択できる
- ** 注 5 参照
- *** 注 6 参照
- **** 注 9 参照

		ローHDCPインデックス:				最新HDCPインデックス:自動				
オプション	オプション	メニュー 選択	必須	自動***	自動	自動****	自動	自動	自動	自動
プレーした ホール数/ スタートホール	アテスト 署名者	プレー形式/ スコアタイプ **	グロススコア (または調整 グロススコア)	調整グロス スコア (NDB)	コース HDCP	ステーブルフォード ポイント/パー/ ボギー結果	PCC	スコア Diff.	ESR調整、 HDCP検証 による調整	最新HI (調整含む)

注：

入力フィールドの多くは、ハンディキャップ計算システムによる自動入力化することが可能。

1. **ホーム倶楽部**（ハンディキャップ管理上の指定）は、プレーヤーの ID 番号または氏名から自動的に生成できる。
2. **最新ハンディキャップインデックス**は、最後に計算されたハンディキャップインデックスから自動的に生成できる。
3. スコア提出日は、そのスコアが**スコア記録**に入力された日付をデフォルト設定とし、必要に応じて変更オプションを付加できる。
4. コースデータベース（ローカル管理または中央一元管理）から、次の情報を自動生成できる：州／国（コース所在地）、**コースレーティング**、**スロープレーティング**、**パー**、「**コースレーティングパー**」調整。
5. ** 必要な場合は、スコアタイプの指定を承認された協会が決定すべきである。これにより、プレー形式、ラウンドがプレーされた場所、その他ラウンドに関する詳細を識別しやすくなる。これは主にハンディキャップ委員会の検証プロセスを支援する機能だが、ハンディキャップ規則の正しい適用を促すものでもある。スコアタイプは、次の例のように指定する：

ラウンド種別： (C) 競技、(G) 一般プレー、(N) 9ホールラウンド

プレー形式： (S) ストロークプレー、(M) マッチプレー

プレー場所： (H) ホーム、(A) アウェイ

ホールをプレーしなかった場合： (X) プレーしなかった

その他詳細： (I) 未了ラウンド、(E) 例外的なスコア、(P) ペナルティスコア
6. *** ホール・バイ・ホールのスコア入力を採用する場合、**グロススコア**に対する適切な調整を自動計算できる。ホール・バイ・ホールのスコア入力を採用しない場合は、**調整グロススコア**を、手動で計算、入力する必要がある。
7. **コースハンディキャップ**は、プレーヤーの**ハンディキャップインデックス**、プレーしたティーの**コースレーティング**、**スロープレーティング**、および**パー**を使用して自動計算できる。
8. **調整グロススコア**は自動計算できる。
9. **** **ステーブルフォードポイント**および**パー／ボギー競技の結果**は、ホール・バイ・ホールのスコア入力を採用する場合は自動計算できる。そうでない場合は、**トータルポイント／結果**を手動入力する必要がある。

10. **最終調整（例外的なスコアおよび／または委員会による調整など）**は、自動的に計算し、最終的に調整された**ハンディキャップインデックス**を算出することができる。自動入力不可能なフィールドがある場合は、スコア入力時に手動で入力する必要がある。

付属規則C:ハンディキャップアロー ワンス

ハンディキャップアローワンスは様々なプレー形式で、すべての技量レベルのプレーヤーが公平に競うことができるように設計されたものである。

ハンディキャップアローワンスは端数処理しないコースハンディキャップに適用し、その適用後の数値がプレーヤーのプレーイングハンディキャップとなる(規則 6.1 および 6.2 参照)。

ナショナル協会は、ハンディキャップアローワンスの制定に関する責任を持つが、その責任を、地区ゴルフ協会またはゴルフ倶楽部に委任することができる。

推奨ハンディキャップアローワンスは、次の表に示した通り。以下のアローワンスは参加人数が中規模の個人ストロークプレーネット競技のためのものであり、良いプレーをした場合にはすべてのプレーヤーに上位 10% の順位に入る同様のチャンスを与えている。マッチプレーやチーム競技については、推奨されるハンディキャップアローワンスは各プレーヤーやチームに同様の勝利のチャンスを与えていることを目的としている。

プレー形式	ラウンドの種類	推奨ハンディキャップ アローワンス
ストロークプレー	個人	95%
	個人ステーブルフォード	95%
	個人パー/ボギー	95%
	個人最大スコア	95%
	フォアボール	85%
	フォアボール・ステーブルフォード	85%
	フォアボール・パー/ボギー	90%
マッチプレー	個人	100%
	フォアボール	90%
その他	フォアサム	チーム HDCP 合計の 50%
	グリーンサム	HDCP の少ないプレーヤーは 60% /多いプレーヤーは 40%
	パインハースト/チャップマン	HDCP の少ないプレーヤーは 60% /多いプレーヤーは 40%
	4人中1人の ベストボール・ストロークプレー	75%
	4人中2人の ベスト合計・ストロークプレー	85%
	4人中3人の ベスト合計・ストロークプレー	100%
	4人の合計スコア・ストロークプレー	100%
	スクランブル(4人1組)	HDCP の少ない方から、 それぞれ 25%、20%、15%、10%
	スクランブル(3人1組)	HDCP の少ない方から、 それぞれ 30%、20%、10%
	スクランブル(2人1組)	HDCP のプレーヤーは 35%、 多いプレーヤーは 15%
	パートナー2人の 合計スコア・マッチプレー	100%
	4人中1人の ベストボール・パー/ボギー	75%
	4人中2人の ベスト合計・パー/ボギー	80%
	4人中3人の ベスト合計・パー/ボギー	90%
	4人の合計スコア・パー/ボギー	100%

アローワンスは異なる参加人数および/または参加者の構成によって調整されることがある(詳説 C/1 参照)。

ハンディキャップ競技：

競技の場合は、委員会は競技の条件でハンディキャップアローワンスを規定するべきである。

通常、ストロークプレー形式では、ハンディキャップアローワンスを適用後、プレーヤーはフルプレーイングハンディキャップを受ける。

通常、マッチプレー形式では、ハンディキャップアローワンスを適用後、最もプレーイングハンディキャップの少ないプレーヤーが他のプレーヤーに対してハンディキャップストローク 0 (ゼロ) でプレーする。その他のプレーヤーは、最もプレーイングハンディキャップの少ないプレーヤーと自身のプレーイングハンディキャップの差をハンディキャップストロークとして受ける。

プラスプレーイングハンディキャップ：

委員会が別途規定している場合を除き、“プラス”プレーイングハンディキャップのプレーヤーは (例えば +2)、ハンディキャップナンバー 18 のホールから順番にハンディキャップストロークを与える。例えば、プレーイングハンディキャップ +2 のプレーヤーは、ハンディキャップナンバー 18 と 17 のホールでハンディキャップストロークを与える。

ハンディキャップアローワンスを適用する際、プラスプレーイングハンディキャップのプレーヤーは、端数の四捨五入処理を含めて数値がゼロ (0) 方向に変動する。このことによって、相対的なプレーイングハンディキャップの差が変わらないように維持できる。

延長ホール：

ハンディキャップアローワンスは、9 ホールまたは 18 ホールでの公平性を確保するために設計されている。競技の優勝者や他の順位を決定するために延長ホールをプレーすることが義務づけられている場合は、ハンディキャップストロークが適用されるホールを、競技の条件で規定するべきである (ゴルフ規則のオフィシャルガイド「委員会の措置」セクション 5A (6) 参照)。

付属規則Cの詳説：

C/1 - 推奨ハンディキャップアローワンスに及ぼすフィールドの影響

フィールドサイズや構成は公平性に影響を及ぼすため、特定の競技、特に個人ストロークプレー形式におけるハンディキャップアローワンスを決定する際に考慮する場合がある。

すべての個人ストロークプレー形式の推奨ハンディキャップアローワンスは、中規模のネット競技 (参加者 30 ~ 100 名) を基準として 95% に設定されている。しかしながら、参加人数が 30 名未満の場合はハンディキャップアローワンスを 100%

にすることが検討され得る。同様に、高いハンディキャップを持つ参加者の割合が著しく高い場合には、より低いアローワンスが検討され得る (例えば、95% の代わりに、90% とする)。

下記の表は、個人ストロークプレー形式での推奨されるハンディキャップアローワンスを参加者の人数や構成に基づき修正する方法を示している。

推奨されるハンディキャップアローワンス (95% に対して)

参加人数	参加者構成 (ハンディキャップ範囲)		
	HDCPの低いプレーヤーが多い	通常のHDCP分布	HDCPの高いプレーヤーが多い
小規模 (<30人)	高い (>95%)	高い (>95%)	同じ (95%)
中規模 (30~100人)	高い (>95%)	同じ (95%)	低い (<95%)
大規模 (>100人)	同じ (95%)	同じ (95%)	低い (<95%)

代わりの手段として、委員会は異なるハンディキャップ範囲で異なる賞のために競う別の部門やフライトを競技で用意することを検討することができる。

C/2 - ハンディキャップアローワンスを適用したハンディキャップ競技における、ハンディキャップストローク割り当て方法の例

プレーヤー	コースハンディキャップ	プレーイングハンディキャップ		
		個人ストロークプレー HDCPアローワンス95%	個人マッチプレー HDCPアローワンス100%	フォアボールマッチプレー HDCPアローワンス90%
A	10	10	10	0
B	18	17	18	7
C	27	26	27	15
D	39	37	39	26

例 1：個人ストロークプレー競技では、各プレーヤーのコースハンディキャップにハンディキャップアローワンス 95% が適用され、その場合にはプレーヤー A は 10 打、プレーヤー B は 17 打、プレーヤー C は 26 打、プレーヤー D は 37 打を受けることになる。

例 2：個人マッチプレーでプレーヤー A とプレーヤー B が対戦した場合、ハンディキャップアローワンスが 100% のとき、プレーヤー A はハンディキャップストローク 0 (ゼロ) でプレーし、プレーヤー B はそのマッチでハンディキャップストローク 8 打を受ける。

例3：フォアボールマッチプレーでは、プレーヤー A はハンディキャップストローク 0(ゼロ) でプレーし、プレーヤー B は 7 打(プレーヤー A とのコースハンディキャップの差 (8 の 90%))、プレーヤー C は 15 打 (17 の 90%)、プレーヤー D は 26 打 (29 の 90%) を受ける。

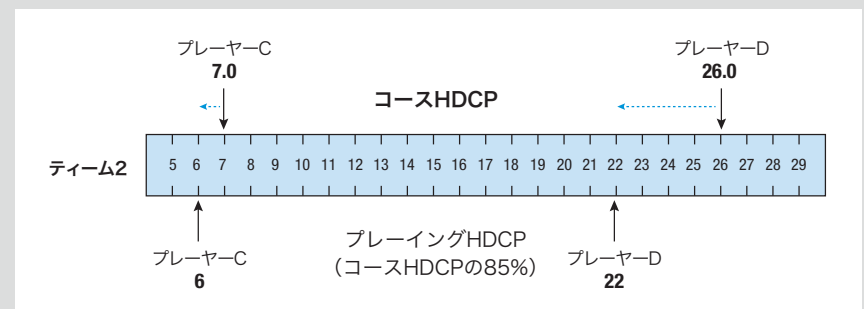
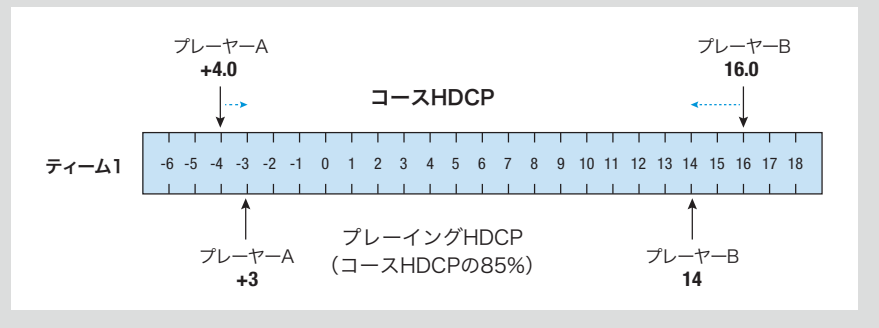
例4：フォアサムマッチプレー (プレーヤー A / B がチーム 1、プレーヤー C / D がチーム 2) では、チーム 2 が 19 打 (各チームのコースハンディキャップの合計の 50%) を受ける。

注：

1. フォアボールマッチプレーのハンディキャップストロークの割り当ては、ハンディキャップが最も少ないプレーヤーが不参加の場合でも変わらない。
2. 例示を容易にするため、上記の例では端数処理したコースハンディキャップにハンディキャップアローワンスを適用している。

C/3 - ハンディキャップアローワンスを適用したハンディキャップ競技における、プラスハンディキャップのプレーヤーを含んだ場合のハンディキャップストローク割り当て方法の例

次の図は、コースハンディキャップ+ 4(プレーヤー A)、16(プレーヤー B)、7(プレーヤー C)、26 (プレーヤー D) の 4 人が、フォアボールストロークプレー競技で対戦する場合に、両チームにハンディキャップアローワンス 85% を適用する方法を示している。



ハンディキャップアローワンス 85% を適用した結果、パートナー間のプレーイングハンディキャップの差はチーム 1 は 17 打、チーム 2 は 16 打となる。これはコースハンディキャップ差のおよそ 85% であり、相対的な公平性を維持している。ハンディキャップアローワンスを適用する際は、常にプレーイングハンディキャップがゼロに近づくように数値が減少する。これはプラスハンディキャップインデックスのプレーヤーも同様である。

例：

プレーヤー	コース HDCP	フォアボールストロークプレー プレーイングHDCP HDCPアローワンス85%	フォアボールマッチプレー プレーイングHDCP HDCPアローワンス90%
A	+4	+3	0
B	16	14	18
C	7	6	10
D	26	22	27

例1：フォアボールストロークプレー (ハンディキャップアローワンス 85%) では、プレーヤー A は 3 打を与え、プレーヤー B、C、D は、それぞれ 14 打、6 打、22 打を受ける。

例2：フォアボールマッチプレーでは、プレーヤー A はハンディキャップストローク 0 (ゼロ) でプレーし、プレーヤー B は 18 打 (プレーヤー A とのコースハンディキャップの差の 90%)、C は 10 打 (11 打の 90%)、D は 27 打 (30 打の 90%) を受ける。

例3：フォアサムマッチプレー (プレーヤー A / B がチーム 1、プレーヤー C / D がチーム 2) では、チーム 2 が 11 打 (各チームのコースハンディキャップの合計の 50%) を受ける。

付属規則D:ハンディキャップ検証

ハンディキャップ検証の手続きは、プレーヤーのハンディキャップインデックスがそのプレーヤーの実証された技量を反映していることをハンディキャップ委員会が担保できるようにしている。

その手続きを支援するために、ワールドハンディキャップシステムソフトウェアの仕様はハンディキャップ委員会がメンバーのハンディキャップを管理するために使用するハンディキャップソフトウェアで開発できる様々な推奨されるレポート、分析、告知を規定している。

そうしたツールは:

- 一貫性をもって「予想される」スコアの範囲より良い、あるいは悪いスコアを提出するプレーヤーやその他プレーヤーのスコア記録に異常がある場合を特定する
- 特定された各プレーヤーのハンディキャップインデックスに推奨される調整(最大2.0ストローク)を行う

推奨される調整はハンディキャップ委員会の裁量においてのみ、そのプレーヤーと実証された技量についてハンディキャップ委員会が有する情報や証拠に基づき適用される。

ハンディキャップ検証のレポートツールは、プレーヤーのハンディキャップインデックス、個々のスコア、そしてスコアパターンについて下記を用いた予測と比較する:

- プレーヤーの次のラウンドで予想されるスコア
- プレーヤーのスコアディファレンシャルの予想される標準偏差
- プレーヤーの予想されるスコア範囲

プレーヤーのスコア記録の中の異常なスコアの数も、総数のパーセンテージとして考慮される。プレーヤーのスコア記録の中で異常なスコアの数が増えると、ハンディキャップ検証のフラグが立つためには、予想されるスコア範囲より良い、あるいは悪いスコアの数もより多く必要となる。

ハンディキャップ検証の手続きで考慮されるその他の情報は下記を含む:

- プレーヤーの最新のローハンディキャップインデックス歴
- ハンディキャップインデックス通りにプレーヤーが最後にプレーしてからの期間の長さ
- ハンディキャップインデックス通りにプレーヤーが最後にプレーしてからのスコア枚数
- 検証期間に記録された、プレーヤーがハンディキャップインデックス通り、あるい

はそれよりも良いプレーをしたときのスコアディファレンシャルの回数と割合

- 検証期間に適用された例外的なスコア調整の数
- 検証期間にソフトキャップやハードキャップが適用されたハンディキャップインデックス計算の数
- 過去12か月(あるいは選択した期間)のサイクルにおけるプレーヤーのスコア提出頻度をそれ以前の12か月(あるいは対象期間)のサイクルと比較する
- プレーヤーのハンディキャップインデックスの傾向(過去12-24か月のプレーヤーのハンディキャップインデックスの一貫性のレベルの差など)
- すべての選択した承認されるプレー形式やスコアタイプ(明確に特定でき、適切に注釈できるものであるべき(付属規則B参照))を通じたプレーヤーのスコアディファレンシャルの平均の比較。例えば、競技と一般のプレー、ストロークプレーとマッチプレー、個人戦とチーム形式などの比較。
- 検証期間におけるプレーヤーのスコアディファレンシャルのベスト40%に示されるプレーヤーの潜在能力
- 予想されるスコアディファレンシャルの分布より著しく良い、あるいは悪いスコアディファレンシャルの連続する順番
- 承認されていないプレー形式でのスコアやパフォーマンス(分かっている場合)
- そのプレーヤーのゴルフ技量に関してハンディキャップ委員会が知っているその他の情報(例えば、レッスン受講による上達、プレー回数の減少、加齢、怪我や病気による潜在スコア技量の低下など)
- プレーヤーのホーム倶楽部で提出された採用可能なスコアの割合(%)
- プライベートラウンドで提出された採用可能なスコアの割合(%)
- 9ホールのラウンドの採用可能なスコアの割合(%)
- ハンディキャップ委員会の検討対象となり得るハンディキャップ数値の変動
- プレーヤーがメンバーである他のゴルフ倶楽部から提供された情報

注:

1. ハンディキャップ委員会がプレーヤーのハンディキャップインデックスに2.0ストロークを超える調整が必要と考えた場合、そうした調整は例外的な状況においてのみ行われるべきである。例えば、他のすべてのプレーヤーと公正・公平にプレーしたり競い合うことに影響する怪我や病気、一時的な障害のあるプレーヤーについて(規則7.1a参照)。

2. ハンディキャップ検証手続きは、反復プロセスの実施を継続することにより、2.0 ストロークを超える調整を決定するために使われることがある。
3. プレーヤーのハンディキャップインデックスに調整を適用する場合、今後ハンディキャップインデックスが上昇するように、委員会がローハンディキャップインデックスの再規定を検討することも重要である。

付属規則E:ハンディキャップナンバーの割り当て (ハンディキャップストロークインデックス)

ゴルフ規則は次のように定めている：「委員会はスコアカードやどこか別の目につく場所（例えば、最初のティーの近く）でハンディキャップストロークを受けたり、与えたりホールの順番を公表する責任がある。」（ゴルフ規則のオフィシャルガイド「委員会の措置」セクション 5J (4) 参照）

ハンディキャップナンバーの割り当ては、18ホールを3ホール毎の6つのブロックに分け、各ホールの対パー難易度の順番を割り振ることを推奨する。承認された協会は、コースレーティングから各ホールに割り当てられた難易度要素を詳述するレポートを提供することができる。

ストロークプレーとマッチプレーの両方に対応するために設計された、3ホール毎の6つのブロックに分けてハンディキャップナンバーを割り当てる推奨方法と手続きは、以下に示した通り：

- フロントナインに奇数ナンバー、バックナインに偶数ナンバーを割り当てる。但し、コースレーティングの数値によりバックナインがフロントナインに比べて著しく難しい場合は、偶数ナンバーをフロントナイン、奇数ナンバーをバックナインに割り当てることができる。
- マッチが終了する前に、プレーヤーが受けることのできるハンディキャップストロークの多くを使う機会を得られるようにするために、18ホール全体で均等にハンディキャップナンバーを配分する。
- 最も小さいハンディキャップナンバー（1または2）は、各9ホールの真ん中のブロックに割り当てる。対パー難易度が最も低い6ホールが真ん中のブロックにない場合、それを1番目のブロックの最後のホール、または3番目のブロックの最初のホールに割り当てることができる。
- 2番目に小さいハンディキャップナンバー（3または4）は、各9ホールの1番目または3番目のブロックに割り当てる。但し、最も小さいハンディキャップナンバーのホールが同じブロックにある場合を除く。
- 可能であれば、連続するホールに小さいハンディキャップナンバー（6以下）を割り当てないようにする。
- プレーヤーが18打を超えるハンディキャップストロークを受ける場合は、ハンディキャップナンバー1を、19、37、および55に置き換え、同じハンディキャップナンバーの順番を使用して順次割り当てる。

これらの推奨手順は、ゴルフ規則のオフィシャルガイド「委員会の措置」セクション

5J (4) に従ったものである。

9ホールプレーの場合の、ハンディキャップナンバーの割り当て

18ホールのゴルフコースで行われる9ホールのプレー形式では、公表されている18ホールのハンディキャップナンバーの順番（昇順）でハンディキャップストロークを受けるべきである。また別の方法として、ハンディキャップ委員会は、公表されている18ホールのハンディキャップナンバーの順番に従って、ハンディキャップナンバーの割り当てを1～9に変更することを検討できる。

プラスハンディキャップのプレーヤーの場合は、その9ホールに割り当てられた最も大きいハンディキャップナンバーのホールからハンディキャップストロークを与えるべきである。もしハンディキャップ委員会がハンディキャップナンバーの割り当てを1～9に変更した場合は、ハンディキャップナンバー9のホールからハンディキャップストロークを与えるべきである。

ハンディキャップナンバーの割り当て例：

18ホールのハンディキャップナンバー割り当て例																		
ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
HDCP ナンバー	7	15	5	11	1	13	3	17	9	8	16	6	12	2	14	4	18	10

委員会が、18ホールのハンディキャップナンバー割り当てを9ホール用に変更した場合の例：

変更したフロントナインの9ホールのハンディキャップナンバー割り当て例									
ホール	1	2	3	4	5	6	7	8	9
HDCP ナンバー	4	8	3	6	1	7	2	9	5

付属規則F: パーの設定

ハンディキャップ規則は、以下の計算の要素としてパーを使用している：

- コースハンディキャップ
- ネットダブルボギー、そして
- ネットパー

ゴルフコースの各ホールに男女それぞれの正確なパーを設定することは重要であり、各ホールのパーはスコアカードに記載するべきである。

各ホールのパーは、以下のホール距離に基づいて設定することを推奨する：

パー	男子	女子
3	260ヤード以下 (240メートル以下)	220ヤード以下 (200メートル以下)
4	240 ~ 490ヤード (220 ~ 450メートル)	200 ~ 420ヤード (180 ~ 380メートル)
5	450 ~ 710ヤード (410 ~ 650メートル)	370 ~ 600ヤード (340 ~ 550メートル)
6	670ヤード以上 (610メートル以上)	570ヤード以上 (520メートル以上)

注：すべての距離は、標高 2000 フィート／610 メートル未満での設定

パーは、スクラッチプレーヤーがそのホールで達成することが期待されるスコアを反映しており、パーを設定する場合には以下の情報も考慮することが適切である：

- そのホールのプレー難易度（勾配変化、レイアップの必要性、恒常的な風などの効果的な距離修正要素を含む）
- ホール距離が、二つのパー設定範囲に該当する場合、例えば男子 470 ヤードまたは女子 400 ヤードの場合は、ホール難易度に応じてパー 4 またはパー 5 に設定することができる。

- ホールをプレーする意図された方法

適切な場合、複数のティーについてパーを標準化することが推奨される。例えば、特定のホールにおいて、410ヤードのフロントティーを除くすべてのティーからのホール距離が男子の推奨されるパー5の設定範囲である場合、そのホールでフロントティーからプレーすることを選ぶ大多数のプレーヤーのためにパー5としてプレーされることが意図されていると判断できるならば、そのフロントティーもパー5とすることができる。男子と女子によって最も一般的にプレーされるティーについて、また、そのホールの複数のティーを通じて男子と女子の最も一般的なパーについても追加的な考慮をすることができる。

パーを標準化することは以下のことを単純化することに役立つ：

- プレーヤーたちが複数のティーからプレーする競技で、受けたり、与えたりするストローク数の計算
- そのホールのすべてのティーを通じてのプレーヤーの調整グロススコアを決定するためにネットダブルボギーとネットパーの一貫性をもった適用

付属規則G: ゴルフコース、コースレーティング、スロープレーティング

コースの実測、コースレーティングとスロープレーティング、コースの改造

a. 通則

承認された協会は、管轄地域内にあるゴルフコースのコースレーティングとスロープレーティングを決定し、発行する責任を持つ（ゴルフコースの定義参照）。コースレーティングとスロープレーティングは、9ホールで最短750ヤード（685メートル）、18ホールで最短1,500ヤード（1,370メートル）のすべてのゴルフコースに発行できる。

コースレーティングは定期的に検証し、必要に応じて再査定しなければならない。新設のゴルフコースは、開場後数年間は頻繁に変化する可能性があるため、初回の査定日から5年以内の再査定を受けなければならない。その後、ゴルフコースは少なくとも10年に一度再査定を受けなければならない。

b. コースの実測

各ホールは、コースレーティングシステムに明記された手順に従って、資格を有する人や団体によってのみ、各ティーの基準測定点からの距離を整数のヤード/メートルで測定しなければならない。承認された協会は、測定手続きの写しを測定過程に関わる人に提供することができる。

c. ティーマーカー

ゴルフコースの各ティーを指定するために使用するティーマーカーは、すべてのホールで一貫性のある名称、色、および/またはデザインを採用し、他のティーマーカーと識別できるようにすべきである。ティーマーカーの名称などについては、承認された協会がゴルフ倶楽部に対して、性別や年齢と関連することを避けるための指針を提供することを強く勧める。

d. レーティングとパーの掲示

プレーヤーが容易に自身のハンディキャップインデックスをコースハンディキャップに、また、採用可能なスコアを提出するためのプレーイングハンディキャップに換算することができるように、各ティーのコースレーティング、スロープレーティング、およびパーは、すぐに分かるようにしておかなければならない。

e. コースレーティングとスロープレーティング

コースレーティングとスロープレーティングは、スクラッチプレーヤーとボギープレーヤー

が通常のプレーイングコンディションでプレーした時のコースの難易度評価である。実効プレー距離は、各ホールの実測距離に、ロール、風、高低差、標高、ドッグレッグ、レイアップの影響による修正を加味したものである。実効プレー距離に加えて、10項目の障害難易度をスクラッチプレーヤーとボギープレーヤーそれぞれに評価する。障害難易度10項目は、地形、フェアウェイ、グリーンターゲット、リカバリーとラフ、バンカー、ペナルティーエリア・キャリー障害、ペナルティーエリア・側方障害、樹木、グリーン表面、心理的影響である。コースレーティングシステムは、採点表ポイント、修正ポイント、および所定の計算式を使用してレーティングを算出する。

コースレーティングは、指定された9ホールまたは18ホールの実効プレー距離と障害難易度によって算出する。コースレーティングは、小数第1位の数値で表示し、スクラッチプレーヤーの予想されるスコアを表す。ボギーレーティングは、ボギープレーヤーの予想されるスコアを表す。コースレーティングとボギーレーティングの差に基づいて、スロープレーティングを決定する。標準的な相対難易度のコースはスロープレーティング113である。

ゴルフ規則で定義されているティーイングエリアの前の縁は、各ホールの基準測定点から前後10ヤード（10メートル）以内に設置すべきである。プレーヤーのスコアディファレンシャル計算に正確なコースレーティングとスロープレーティングを適用するために、18ホールのゴルフコースは、実測距離より100ヤード（100メートル）を超えて短くなったり、長くなったりすべきでない。9ホールのゴルフコースでは同等に実測距離より50ヤード（50メートル）を超えて短くなったり、長くなったりすべきでない。

f. コースの改造

(i) 一時的な改造

ゴルフコースにコースレーティングに影響を与える可能性のある臨時の変更が施される場合は、ハンディキャップ委員会は必ず承認された協会にその旨を通知しなければならない。承認された協会は、そのようなコンディションでプレーされたスコアをハンディキャップ査定に採用できるか否か、およびコースレーティングとスロープレーティングを一時的に変更する必要があるか否かを決定する。

臨時のコースレーティングとスロープレーティングを発行した場合は、プレーヤーがラウンドを開始する前にその情報を知ることができるようにしなければならない。

18ホールのゴルフコースの場合：

承認された協会によって認められた場合、ハンディキャップ委員会および/または承認された協会は、以下の手順に従って、臨時のコースレーティングとスロープレーティングを決定する：

- 該当する性別のレーティングが査定されている最も近いティーを選ぶ。
- 選択した査定済みティーとプレーするティーの実測距離の差を算出する。

- 距離の差が100ヤード〔100メートル〕未満の場合は、レーティングの調整は必要なく、通常通りスコアを提出できる。
- 距離の差が100～300ヤード〔100～274メートル〕の場合は、次の表を使用して調整値を決定し、臨時のコースレーティングとスロープレーティングを発行する。

以下の表を使用して、該当する距離差に基づいてレーティング調整値を選択する：

男子レーティング調整値			女子レーティング調整値		
ヤード 〔メートル〕	コース レーティング 調整値	スロープ レーティング 調整値	ヤード 〔メートル〕	コース レーティング 調整値	スロープ レーティング 調整値
100-120 〔100-110〕	0.5	1	100-116 〔100-106〕	0.6	1
121-142 〔111-130〕	0.6	1	117-134 〔107-122〕	0.7	1
143-164 〔131-150〕	0.7	2	135-152 〔123-139〕	0.8	2
165-186 〔151-170〕	0.8	2	153-170 〔140-155〕	0.9	2
187-208 〔171-190〕	0.9	2	171-188 〔156-172〕	1.0	2
209-230 〔191-210〕	1.0	2	189-206 〔173-188〕	1.1	2
231-252 〔211-230〕	1.1	3	207-224 〔189-205〕	1.2	2
253-274 〔231-250〕	1.2	3	225-242 〔206-221〕	1.3	3
275-300 〔251-274〕	1.3	3	243-260 〔222-238〕	1.4	3
*300ヤード〔274メートル〕を超える調整値は、管轄地域の承認された協会に問い合わせること。			261-278 〔239-254〕	1.5	3
			279-300 〔255-274〕	1.6	3
			*300ヤード〔274メートル〕を超える調整値は、管轄地域の承認された協会に問い合わせること。		

注1. すべての調整は、その結果が9ホールで最短750ヤード（685メートル）、18ホールで最短1,500ヤード（1,370メートル）より短くなる場合には適用してはならない。

注2. すべての距離は、標高2000フィート／610メートル未満での設定

- プレーする未査定ティーの距離が査定済みティーの距離より長い場合、上記の調整値を査定済みティーの該当する性別のレーティングに足す。
- プレーする未査定ティーの距離が査定済みティーの距離より短い場合、上記の調整値を査定済みティーの該当する性別のレーティングから引く。
- 距離差が300ヤード〔274メートル〕を超える場合、その日のスコアはハンディキャップ査定に採用できない。但し、ラウンドまたは競技開始前に、承認された協会によって別途決定された場合は、その限りではない。

9ホールのゴルフコースの場合：

承認された協会によって認められた場合、ハンディキャップ委員会および／または承認された協会は、以下の手順に従って、臨時のコースレーティングとスロープレーティングを決定する：

- 該当する性別のレーティングが査定されている最も近いティーを選ぶ。
- 選択した査定済みティーとプレーするティーの実測距離の差を算出する。
- 距離の差が50ヤード〔50メートル〕未満の場合は、レーティングの調整は必要なく、通常通りスコアを提出できる。
- 距離の差が50～150ヤード〔50～137メートル〕の場合は、以下の表を使用して調整値を決定し、臨時のコースレーティングとスロープレーティングを発行する。

以下の表を使用して、該当する距離差に基づいてレーティング調整値を選択する：

男子レーティング調整値			女子レーティング調整値		
ヤード [メートル]	コース レーティング 調整値	スロープ レーティング 調整値	ヤード [メートル]	コース レーティング 調整値	スロープ レーティング 調整値
50-76 [50-90]	0.3	1	50-62 [50-57]	0.3	1
77-98 [70-90]	0.4	2	63-80 [58-73]	0.4	2
99-120 [91-110]	0.5	2	81-98 [74-90]	0.5	2
121-142 [111-130]	0.6	3	99-116 [91-106]	0.6	2
143-150 [131-137]	0.7	3	117-134 [107-122]	0.7	3
*150 ヤード [137メートル]を超える調整値は、 管轄地域の承認された協会に問い合わせること。			135-150 [123-137]	0.8	3
			*150 ヤード [137メートル]を超える調整値は、 管轄地域の承認された協会に問い合わせること。		

注：異なるティーを組み合わせる場合、採用可能なスコアを提出するために最新のコースレーティングとスロープレーティングが必ず必要である。競技を管理する委員会が異なるティーを組み合わせる場合、この臨時レーティングの手順を使用することができる。但し、この手順で決定したレーティングは、正式または恒久的なコースレーティングとスロープレーティングに取って代わるものではない。

(ii) 恒久的な改造

恒久的なゴルフコースの改造を実施する場合、ゴルフ倶楽部は必ずその旨を承認された協会に通知しなければならない。承認された協会は、恒久的な改造を実施したゴルフコースの既存のコースレーティングとスロープレーティングを検証し、再査定が必要か否かを判断する必要がある。

索引

	規則	ページ
アクティブシーズン	2.1	28
管轄地域		
- 承認された協会	1.3	22
- WHSの登録商標	1.2	22
- ハンディキャップ規則の使用承認	1.2	22
- プレーヤーの管轄地域外	2.1a(ii)	30
- プレーヤーの管轄地域内	2.1a(i)	30
キャップ		
- ソフトキャップ	5.8(i)	63
- ハードキャップ	5.8(ii)	63
- ローハンディキャップインデックス	5.7	61
コースハンディキャップ		
- 与えるハンディキャップストローク (プラスハンディキャップのプレーヤー)	付属規則C	98
- 受けるハンディキャップストローク	付属規則E	106
- 9ホールコースハンディキャップ	6.1b	68
- コースレーティング	付属規則G	110
- コースレーティングとパー	6.1	67
- 18ホールコースハンディキャップ	6.1a	67
- スロープレーティング	付属規則G	110
- ハンディキャップアローワンス	付属規則C	96
- プラスハンディキャップのプレーヤー	付属規則C	98
- プレーイングハンディキャップ	6.2	69
- プレーした9ホールに基づく18ホールコースハンディキャップ	6.1a	68
コースレーティング		
- コースハンディキャップ	6.1	67
- コースレーティングとスロープレーティングの発行	付属規則G	110
- ゴルフコースの実測距離	付属規則G	111
- 実効プレー距離	付属規則G	111
- 障害	付属規則G	111
- スクラッチプレーヤー	付属規則G	110
- スロープレーティング	付属規則G	110
- ボギープレーヤー	付属規則G	110

	規則	ページ
- ボギーレーティング	付属規則G	110
ゴルフ規則		
- 採用可能なスコア	2.1	28
- スコアの証明	4.4	48
- ハンディキャップナンバーの割り当て	付属規則E	106
ゴルフ倶楽部		
- ゴルフ倶楽部のメンバー	1.4a	24
- スコアを提出する責任	5.4/2	57
- パーの設定	付属規則A	87
- ハンディキャップ委員会	1.3(ii)	23
- ホーム倶楽部	1.4b	25
ゴルフコース		
- 改造	付属規則G	111
- コースの実測	付属規則G	111
- コースレーティング	付属規則G	110
- コースレーティングとパーの掲示	付属規則G	110
- スロープレーティング	付属規則G	110
- ティーマーカー	付属規則G	110
- 一時的な改造	付属規則G	111
採用可能なスコア		
- アクティブシーズン	2.1	28
- ゴルフ規則に従ったプレー	2.1b	33
- 最少ホール数	2.2a/2.2b	35
- 承認されたプレー形式	2.1a	30
- スコアの証明	4.4	48
- 臨時のグリーンまたはティー	2.1/3	29
承認された協会		
- 管轄地域	1.3(iv/v)	23
- 責任	付属規則A	84
- 地区ゴルフ協会	1.3(iii)	23
- ナショナル協会	1.3(iv)	23
- パーの設定	付属規則A	87
- マルチナショナル協会	1.3(v)	23
承認されたプレー形式		
- 一般のプレー	2.1a	30
- 9ホール	2.2b	35
- 競技	2.1a	30

	規則	ページ
- 個人ストロークプレー	2.1a	30
- 個人マッチプレー	2.1a	30
- 最大スコア	2.1a	30
- 18ホール	2.2a	35
- ステープルフォード	2.1a	30
- パー/ボギー	2.1a	30
- ハンディキャップアローワンス	付属規則C	96
- フォアボール・ストロークプレー	2.1a	30
- フォアボール・マッチプレー	2.1a	30
- プレーヤーの管轄地域外	2.1a(ii)	30
- プレーヤーの管轄地域内	2.1a(i)	30
スクラッチプレーヤー		
- コースレーティング	付属規則G	110
- スロープレーティング	付属規則G	110
- ハンディキャップインデックス	5.2	52
スコア記録		
- スコア記録に登録する情報	付属規則B	90
- ハンディキャップ委員会	付属規則B	90
- ホーム倶楽部	付属規則B	90
スコア相互検証		
- スコア記録	付属規則B	90
- スコアの証明	4.4	48
スコアタイプ		
付属規則B 90		
スコアディファレンシャル		
- 9ホールスコア	5.1b	51
- 18ホールスコア	5.1a	50
- スコアディファレンシャルの計算	5.1	50
- 例外的なスコア	5.9	64
スコアの証明		
- スコア相互検証	4.4	48
スコアの提出		
- 終了しなかったラウンド	3.2	38
- スコア提出の期限	4.3	47
- スコアを提出しなかった場合	7.1b	78
- スコアを提出できる者	4.2	47
- スタートしたがホールアウトしなかったホール	3.3	41
- 適時の提出	4	45

	規則	ページ
- プレーしなかったホール	3.2	38
- ホール・バイ・ホール・スコアの提出	4.1a(ii)	45
スロープレーティング		
- 受けるハンディキャップストローク	6	67
- コースハンディキャップ	6.1	67
- コースレーティング	付属規則G	110
- ゴルフコース	付属規則G	110
- ボギーレーティング	付属規則G	110
- レーティングの掲示	付属規則G	110
ソフトキャップ		
5.8(i) 63		
調整グロススコア		
- スタートしたがホールアウトしなかったホール	3.3	41
- ネットダブルボギー	3.1b	37
- ハンディキャップインデックス取得後	3.1b	37
- ハンディキャップインデックス取得前	3.1a	36
- プレーしなかったホール	3.2	38
- ホールスコア上限	3.1	36
ネットダブルボギー		
- ホールスコア上限	3.1b	37
ネットパー		
- プレーしなかったホール	3.2	38
パー		
- パーの設定	付属規則F	108
- ハンディキャップナンバーの割り当て	付属規則E	106
- ホール距離	付属規則F	108
ハードキャップ		
5.8(ii) 63		
ハンディキャップアローワンス		
- 受けるハンディキャップストローク/プラスハンディキャップのプレーヤーが与えるハンディキャップストローク	付属規則C/3	100
- 延長ホール	付属規則C	98
- コースハンディキャップ	6.1	67
- ハンディキャップ競技	付属規則C	98
- プラスプレーイングハンディキャップ	付属規則C	98
- プレーイングハンディキャップ	6.2	69
- プレー形式	付属規則C	97
ハンディキャップ委員会		
- 委員会の行動	7	74

	規則	ページ
- 競技の条件	7.2a	81
- スコアの提出	7.2b	82
- パーの設定	付属規則A	87
- ハンディキャップ検証	7.1a	74
- プレーヤーのハンディキャップインデックスの調整	7.1a(ii)	75
- プレーヤーのハンディキャップインデックスの停止	7.1c	80
- プレーヤーのハンディキャップインデックスの復帰	7.1d	81
- ペナルティースコア	7.1b	78
ハンディキャップインデックス		
- 実証された技量	5	50
- 初回のハンディキャップインデックス	4.5	48
- スコアディファレンシャルの計算	5.1	50
- スコアの有効期限	5.5	57
- ステークホルダーの責任	付属規則A	84
- ソフトキャップ	5.8(i)	63
- 調整値	5.2a	52
- 20枚の場合	5.2b	55
- 20枚未満の場合	5.2a	52
- ハードキャップ	5.8(ii)	63
- ハンディキャップ委員会の行動	7	74
- ハンディキャップインデックスの計算	5.2	52
- ハンディキャップインデックスの上限	5.3	56
- ハンディキャップの失効	5.5	57
- プラスハンディキャップインデックス	5.2c	55
- ローハンディキャップインデックス	5.7	61
ハンディキャップ規則		
- WHSの使用承認	1.2	22
ハンディキャップ検証		
- 怪我をしたプレーヤー	7.1a/2	78
- 他の倶楽部に調整を要求する	付属規則D	103
- ハンディキャップ委員会	7.1	74
- ハンディキャップインデックスの調整	7.1a(ii)	75
- ハンディキャップインデックスの凍結	7.1a(ii)	75
- ハンディキャップインデックスのリセット	7.1a(ii)	75
- プレーヤーが調整を要求する場合	7.1a(i)	74
ハンディキャップナンバー		
- 委員会の手順	付属規則E	106

	規則	ページ
- 9ホールプレーのハンディキャップナンバーの割り当て	付属規則E	107
- コースレーティングシステム	付属規則G	110
- 18打を超えるハンディキャップストロークを受ける場合	付属規則E	106
- ハンディキャップストローク	6	67
- ハンディキャップナンバーの割り当て	付属規則E	107
非アクティブシーズン		
プレーイングコンディション計算 (PCC)		
- アウェイスコアをホーム倶楽部に提出した	5.6/5	60
- 9ホールスコア	5.1b	51
- 最低8枚の採用可能なスコア	5.6	58
- スコア提出の期限	4.3	47
- スコアディファレンシャルの計算	5.1	50
- 対象プレーヤー	5.6/1	59
- 同一日に個別のPCCを実行する	5.6/3	60
- 同一日に複数のPCCを実行する	5.6/2	59
- 27ホールコース	5.6/6	60
- ハンディキャップインデックスの計算	5.6	58
- PCC調整値の範囲	5.6	59
- 毎日のプレーイングコンディション計算	5.6	61
プレーイングハンディキャップ		
- コースハンディキャップ	6.1	67
- プレーイングハンディキャップの計算	6.2	69
ペナルティースコア		
- スコアが入手可能な場合	7.1b(ii)	79
- 不当な利益を得る	7.1b(ii)	79
- 正当な理由でスコアを提出しなかった	7.1b(i)	79
- 正当な理由なくスコアを提出しなかった	7.1b(ii)	79
- ペナルティースコアの適用	7.1b	78
ホーム倶楽部		
- 管轄地域	1.4b/3	26
- 単一のスコア記録	付属規則A	84
- ハンディキャップ委員会	7.1	74
- ハンディキャップインデックス	付属規則A	84
- ホーム倶楽部の指定	1.4b	25
ホールスコア上限		
- ネットダブルボギー	3.1b	37

	規則	ページ
- ハンディキャップインデックス取得後	3.1b	37
- ハンディキャップインデックス取得前	3.1a	36
ボギープレーヤー	付属規則G	110
メンバー		
- ゴルフ倶楽部に所属する	1.4a	24
- 複数の倶楽部のメンバー	1.4b/3	26
予想されるスコア		
- 1ホールまたは複数のホールをプレーしなかった場合	3.2b	39
- 予想されるスコアを用いたスコアディファレンシャルの計算手続き	3.2b/1	40
- 18ホール未満のラウンドのスコアディファレンシャル	5.1a	50
- 9ホールのラウンドの一部	5.1b	51
- プレーイングコンディション計算の実行手順	5.6/1	59
- スコアを提出しなかった理由が正当化されない場合	7.1b(ii)	79
例外的なスコア		
- スコア記録	付属規則B	90
- スコアディファレンシャル	5.9	64
- 調整の効果を持続させる	5.9	64
- 低減	5.9	64
- ハンディキャップ委員会	7.1	74
- ハンディキャップインデックスの調整	7.1a(ii)	75
- ハンディキャップ検証	7.1a	74
ローハンディキャップインデックス		
- スコア記録	5.7	61
- 対象期間	5.7/1	62
- 20枚の採用可能なスコア	5.7	61

ハンディキャップ規則

2024年1月1日 初版発行

発行者 (公財) 日本ゴルフ協会

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-24-2 八丁堀第一生命ビル 4階

www.jga.or.jp

無断複製転載を禁ず